



“秋田暮らし” はじめの一步

秋田県移住・定住総合ポータルサイト

移住イベントなどの最新情報は、秋田県移住・定住総合ポータルサイト「“秋田暮らし”はじめの一步」で配信しています！

Webサイトはこちらから▶

秋田暮らし はじめの一步 検索



AIチャットボットへ聞いてみよう！
「“秋田暮らし”はじめの一步」
LINE公式アカウント

移住に関する素朴な疑問から、支援制度や市町村情報まで、AIチャットボットがお答えします。
秋田暮らしの情報も発信中！

僕がお答えするワン！



Instagram



Twitter



あきたで暮らそう！ Aターンサポートセンター

相談日 火曜～日曜(祝日・お盆・年末年始期間・臨時休館除く) 相談時間 11:15～18:00

場所 〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館8F NPO法人ふるさと回帰支援センター内

アクセス JR有楽町駅(京橋口・中央口(銀座側))下車、東京メトロ有楽町駅(地下直結)

連絡先 ☎080-9292-5195 Email : akita1@furusatokaiki.net



秋田県 あきた未来創造部 移住・定住促進課 移住促進チーム Tel:018-860-1234 Fax:018-860-3871

このガイドブックでは、2023年6月時点の事業を紹介しています。最新の事業内容は、各お問い合わせ先にご確認ください。



全25市町村掲載
「市町村ガイド」

秋田への移住に
役立つ情報満載！

秋田県移住ガイドブック

もっと自分を
好きになれる
暮らし方



移住者インタビュー
それぞれのはじめの一步

あなたがしたいこと、秋田にあります。

過密な都会生活から離れ、仕事と家庭とのバランスを取りながら、
自分らしいライフスタイルを実現してみませんか？
今や田舎暮らしでのんびり過ごすだけが移住ではありません。
たくさんの選択肢や可能性がある。この冊子ではじめの一歩をふみだしましょう。



秋田をもっと知りたい

秋田暮らしの ステップを 知ろう 4ページ	秋田って こんなところ！ 6ページ	秋田県民 おすすめ スポット 7ページ	数字で 秋田暮らしの 魅力を紹介 8ページ
--------------------------------	-------------------------	------------------------------	--------------------------------



希望する仕事を見つけない

どんな仕事か あるのか 知りたい 19ページ	身につけた スキルを基に 起業したい 22ページ	農業・林業 漁業に 携わりたい 24ページ	地域おこし 協力隊で 元気にしたい 28ページ
---------------------------------	-----------------------------------	--------------------------------	----------------------------------

充実した暮らしがしたい

秋田 暮らしを 体験したい 30ページ	子育て しやすい ところに 住みたい 32ページ	教育水準が 高いところで 子どもを 育てたい 34ページ	夢を 見つけたい 36ページ	新しい 出会いを 見つけたい 38ページ
------------------------------	--------------------------------------	--	----------------------	-------------------------------

制度・支援を知りたい

移住支援 制度 39ページ	リモートワークで 秋田暮らし 41ページ	ワーケーション 42ページ
---------------------	----------------------------	------------------

市町村の特徴を知りたい 44ページ



CONTENTS

知る	秋田暮らしへのステップ!	04	知る	移住のセンパイinterview	10	仕事	Aターンサポートセンター	18	暮らし	林業・漁業もバックアップ!	26	暮らし	学力全国トップクラスの秘密	34	制度支援	リモートワーク移住	41
	秋田県ってこんなところ!	06		01 塩原 俊介さん、愛結さん	10		仕事を探すなら	19		地域おこし協力隊	28		秋田の教育を体感!	35		ワーケーション	42
	秋田県民おすすめスポット	07		02 渡邊 真央さん	12		あきたまるごとAターンフェア	20		住まい探しをお手伝い!	29		秋田の学び場	36		お役立ち情報	43
	冬の暮らしガイド	07		03 大野 快さん	14		事業を始めたい!	22		移住体験住宅のご案内	30		結婚支援について	38		市町村別移住支援情報	44
数字でみる秋田県	08	センパイに聞きたい! Q&A	16	就農したい人集まれ!	24	移住支援制度を知ろう	30	秋田の子育て支援	32	移住支援制度を知ろう	39	市町村別移住支援情報	44	秋田県内交通網	51		

最初が肝心！

秋田暮らしへのステップ！



STEP ① 移住する目的を明確に

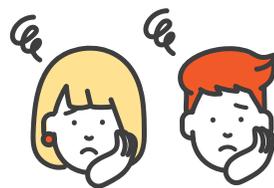
「都会の喧騒に疲れたら、田舎で穏やかな生活を送りたい」という言葉をよく聞くことがありますが、重要なのは、具体的な目的を持つことです。例えば、「自然豊かな場所で生活したい」とか、「レベルの高い教育を受けさせたい」といった目的を明確にすることで、理想の生活に近づくことができます。

STEP ② 秋田への移住前に準備したいこと

引っ越しや建物の補修などが予想以上に費用がかかる場合があるため、緊急時に備え、ある程度の貯蓄が必要です。一部地域を除いて運転免許がないと生活が不便に感じることもあります。免許を取得しておくことが望ましいです。

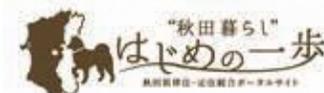
STEP ③ パートナーや家族と話し合う

パートナーや家族が移住に意欲を持っていないければ、その実現は困難です。家族の反対を押し切って移住をする方もいるかもしれませんが、このような行動はすれ違いにつながることもあるため、ゆっくり話し合いの場を設けましょう。



秋田暮らしを実践するまでには、いくつかのステップを踏む必要があります。そのプロセスは人それぞれですが、ここでは、基本となるステップをご紹介します。ご自身が今どの位置にいるのかも確認してみましょう。

秋田暮らしの魅力や移住支援情報は、
移住・定住総合ポータルサイト「秋田暮らしはじめの一步」をCheck！



- 移住に関する情報がワンストップで手に入る！
- 各種支援制度も検索可能！
- 移住者インタビューなど動画も充実！
- イベント情報もこちらでチェック！

STEP ⑥ 移住支援を知ろう！

秋田への移住では「はじめての秋田暮らし応援事業」やリモートワーク支援金などさまざまな支援を受けることができます。内容を確認してみましょう。

詳しくはP39～P43



STEP ⑤ 暮らす場所について考えよう

秋田での生活経験がない人は、移住体験住宅の利用がおすすめです。施設によって滞在可能期間は1泊から1～2年まで様々です。農作業を手伝う体験ツアーに参加したり、体験ができる農林漁家民宿に宿泊したりすることで、より具体的な秋田暮らしをイメージしましょう。

詳しくはP30～P31



STEP ④ 仕事はどうする？

首都圏からの転職を考えている方は、数多くの自治体が相談窓口や人材バンクシステムを用意しているので、積極的に利用しましょう。移住相談や秋田での就職先を探ることができるAターンサポートセンターやAターンプラザ、あきた就職ナビも気軽に活用してください。

詳しくはP19～P21



Aターンって何？



秋田県へのUターン・Iターン・Jターンの総称で、秋田県出身の方もそれ以外の方もみんな秋田にきて秋田に住んでくださいとの願いを込めたオールターン (All Turn) の“A”と秋田 (Akita) の“A”とをかけた言葉です。

知っておきたい!

秋田ってこんなところ!

秋田のイメージって、「雪国」とか「ナマハゲ」とか「きりたんぼ」…。

でもそれだけじゃない!秋田にはまだまだ魅力がいっぱいです。

移住を検討するなら、最初に知っておきたい情報をまとめてみました。

人口 918,507人

(2023年5月1日現在)

面積 11,638km² **全国6位**

人口密度 土地が広々使えるかも!?

AKITA 78.90人/km²

東京の約 **1/81**

TOKYO

6,410.01人/km²

(2023年5月)

県民性

秋田県の県民性としては、真面目で穏やか誠実、遊ぶのが大好き。男性は実直であり、女性は秋田美人が多いという良い評価も得ているので、結婚したい理想像といえるでしょう。

AKITA!

odayaka majime

seijitsu

kinben

エリアガイド

南北に広がる秋田県は、地域によって特色のある豊かな食文化やさまざまな観光名所があります。

市町村について詳しくはP44から!

県北

県庁所在地の秋田市があり、交通の便が良く、積雪も少ない地域です。男鹿半島や鳥海山など豊かな自然がある一方で、県のリーディング産業である電子デバイス産業が集積しています。



県北

世界遺産の白神山地や十和田湖、八幡平があり、自然環境に恵まれています。養豚など畜産が盛んで、きりたんぼ鍋、比内地鶏、秋田犬など、秋田を代表するコンテンツも。



県南

稲作が盛んで、酒蔵が多いエリア。全国的に有名な大曲の花火や、角館、田沢湖などの観光地があります。県内でも有数の豪雪地帯ですが、冬の小正月行事がいっぱい!



秋田県民 おすすめスポット8選

この他にも楽しいスポットがたくさん!

秋田を
知ろう

秋田ってこんなところ!

旬をたべよう!



秋田市民市場

秋田駅西口から徒歩5分!地元でとれた鮮魚、山菜、果物など旬の味が盛りだくさん!
秋田市中通四丁目7-35
Tel. 018-833-1855 (代表)



いとく大館ショッピングセンター

旬の食材やこだわりのお惣菜など自慢の商品を豊富に取り揃えています。2階の無印良品は東北最大級です。
大館市御成町3-7-58
Tel. 0186-49-1717 (代表)

趣味をひろげよう!



ゴルフ

森岳温泉36ゴルフ場

東北最大級のゴルフコース数で、大自然を感じられるダイナミックなホールを満喫できます。
山本郡三種町森岳字木戸沢199-183
Tel. 0185-83-2000



スキー
スノーボード

たざわ湖スキー場

日本有数のスノーリゾートたざわ湖。広大なゲレンデから望む深さ日本一の湖の景観に圧倒されます。
仙北市田沢湖生保内下高野73-2
Tel. 0187-46-2011



キャンプ

アウトドアを楽しもう!

なまはげオートキャンプ場

全面芝生のオートサイト・キャンピングカーサイト・フリーサイトの他6棟のコテージ。温泉施設も隣接。
男鹿市北浦北浦平山内
Tel. 0185-22-5030



キャンプ

とことん山キャンプ場

オールシーズン楽しむことができる、大自然に包まれたキャンプ場。家族で最高の思い出をつくろう!
湯沢市皆瀬新処106
Tel. 0183-47-5241

体験してみよう!



羽後町こまち野のいちご狩り

県内最大規模のいちごハウスでいちご狩りを楽しめます。高設栽培なので衛生的で安心です。
株式会社 こまち野
雄勝郡羽後町宇南野44
Tel. 0183-62-5415



米代川カヌー体験

山と川が織り成す絶景を水上から堪能。全くの初心者でもカヌーの魅力を楽しめます。
NPO法人二ツ井町観光協会カヌースクール
能代市二ツ井町小繁字泉98-1
Tel. 0185-73-5075

秋田は雪国! 冬の暮らしガイド



積雪が多いのは1月上旬から2月半ばくらい。一面真っ白。

地域で異なる積雪量

おそらく多くの人が気になるのが「雪」ですね。秋田県は典型的な日本海型気候。冬は季節風が強く、降雪量が多くなりますが、エリアによって積雪量は全く異なります。最深積雪の平年値は沿岸部の秋田市で38cm、内陸南部の湯沢市で89cm。積雪の少ない沿岸部も風が強いことや気温が低いことで道路が凍ることも。

秋田の冬の必須アイテムをご紹介します



手袋&長ぐつ

一家に最低1セットはマスト。雪かき時にはもちろん、普段使いにも。



スコップ

用途に応じてさまざまな種類の雪かき用スコップがあります。



スノーダンプ

大量の雪を除雪するための必須アイテム。雪質によっては、雪の重さも異なります。



スタッドレス タイヤ

だいたい11月くらいにはタイヤ交換。安全な車の運転には欠かせません。

動画で見てみよう! 「秋田の冬の暮らし」



秋田の暮らしをVRで体験しよう!をコンセプトに、実際に秋田の日常をVRで疑似体験できる360°ムービーを制作しました。今回は秋田の冬の暮らしについて、県内でも比較的雪の少ない秋田市と、雪の多い地域にある横手市の冬の様子を360°ムービーで体験しながら、雪国の暮らしを身近に感じることができます。除雪事情など冬の暮らしの気になる部分や、冬ならではの美しい景色やレジャーなど、秋田の冬の魅力もお届けします!

VR動画は
こちらから!



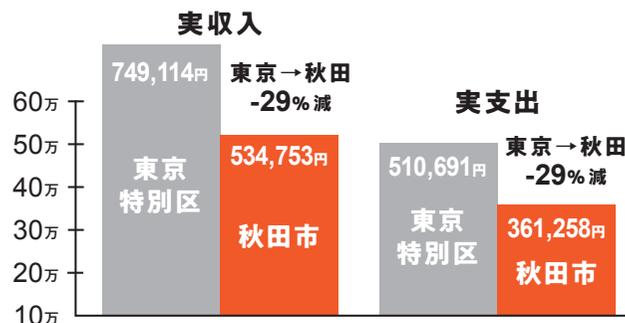
数字で 秋田暮らしの魅力を紹介します！

移住すると暮らしはどう変わるの？ 収入や住まい、教育のことなど、気になる暮らしの違いから、秋田暮らしの魅力をチェックしましょう！



収支

収入面では、地域の賃金水準から差が生じています。しかし、支出面も物価水準の違いなどから秋田の方が低いため、収入と支出のバランスは**首都圏と大きな違いはありません。**



出典：「令和3年の各家計調査結果」(総務省統計局)から秋田県が作成

生活

●通勤時間

通勤時間の短さは**全国2位!**



毎日の通勤時間は首都圏に比べ**20分以上短く、満員電車によるストレスなし。**

出典：「令和3年社会生活基本調査結果」(総務省統計局)から秋田県が作成

●生活時間



帰宅時間も早まるため、睡眠、食事などの**自宅で過ごす時間(一次時間)が全国で最長。**特に睡眠時間は男女ともに**全国1位**です。

出典：「平成28年社会生活基本調査結果」(総務省統計局)から秋田県が作成

安全・安心

安全・安心なまち **全国1位!**



防災対策・対応をしっかりと行っている**「災害に強い県」**です。災害復旧費割合や防災会議の設置有無などから見ても、安全で暮らしやすい土地です。

出典：「令和3年 ESGテラスト安全安心なまちランキング」(サステナブル・ラボ(株))

刑法犯検挙率 **全国1位!**



刑法犯検挙率が78.4%と高く、防犯意識が高い**「安心・安全の県」**です。犯罪発生も少なく、安心安全に暮らせる環境が整っています。

出典：警察庁「犯罪統計資料」

子育て環境

子育て環境の良さも魅力のひとつです。**保育園の入りやすさ**は、東京と比べて**6倍。**全国平均と比較しても**4倍**も違います。



出典：「保育所等関連状況取りまとめ(2021年4月1日)」(厚生労働省子ども家庭局)から秋田県が算出

教育水準

毎年全国でトップクラスの成績を収めている秋田の児童・生徒の学力。家庭学習の習慣や「探究型授業」など、教育環境が整っている。

●全国学力・学習状況調査

公立小学校6年 **国語1位!**
(平均正答率)
公立中学校3年 **国語2位!**
(平均正答率)
総合で **全国2位!**

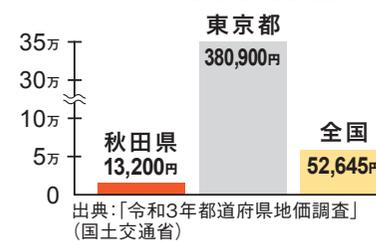
出典：「令和3年度全国学力・学習状況調査」(文部科学省)

住環境

持ち家住宅率は**全国1位!**

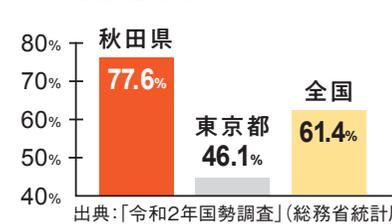
夢のマイホームが叶う!?

●1㎡当たりの宅地平均価格



出典：「令和3年都道府県地価調査」(国土交通省)

●持ち家住宅率



出典：「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

宅地の平均価格は全国で一番安く、全国平均の3割以下。宅地価格が低いことから、マイホーム所有者が多い。

子育てと仕事を両立できています!

6歳未満の子どもがいる妻(夫婦と子ども世帯)の仕事時間 (2011年)

出典：「社会生活基本調査」(総務省統計局)

265分 **全国1位**

17件 **全国1位**

国指定重要無形民俗文化財の件数 (2022年)

出典：文化庁「国宝・重要文化財等 都道府県別指定件数一覧」

9,000L/分 **全国1位**

玉川温泉の湧出量 出典：1カ所の源泉からの湧出量(仙北市)

79.7% **全国1位**

一戸建率 (2017年) 出典：総務省統計局「住宅・土地統計調査」

50.7% **全国2位**

70歳以上が働ける企業割合 (30人以上規模起業) (2017年)

出典：「高齢者雇用状況等報告」(厚生労働省)

移住のセンパイ
interview

夫婦二人三脚で
仕事と子育てを
全うするための移住

神奈川県 ▶ 大館市

シェフ

しお ばら しゅんすけ
塩原 俊介さん

あゆ
妻◎愛結さん

の の か
長女◎希々香さん

こ こ は
次女◎心々葉さん

な な ほ
三女◎菜々穂さん

— 移住歴 4年目
— 5人家族

01



夫は仕事、妻は子育て
そんな環境を移住で打破

塩原俊介さん、愛結さん夫婦は、神奈川県横浜市で暮らしていました。愛結さんから「移住」の話が出たのは2018年頃。当時、俊介さんはイタリア料理店の調理長として忙しく、愛結さんは希々香ちゃん、心々葉ちゃんの子育てに追われていました。同じ飲食店で働いた経験を持つ愛結さんは、夫の忙しさを理解しながらも一人で育児に追われる日々が不安でした。俊介さんも妻の気持ちを感じながらも余裕がなく、同時に、料理人としての働き方を変えたいという思いもありました。元々、愛結さんは、「いつか地元・大館で暮らしたい」と思っていたことも2人にとって生活を見直すきっかけになりました。

大館への移住について、俊介さんは「安心して子育てするためには、妻の故郷に行くのが最善の方法でした」と振り返ります。同時に、「自分の店を」と願う俊介さん自身も、大館の地に新たな可能性を感じていました。



あたたかい人間関係の中で
芽生えた新しい家族関係

移住して4年目。現在、三女の菜々穂ちゃんも誕生し、塩原家は5人家族に。神奈川県出身の俊介さんは、移住当初、親戚や友人との繋がりや濃さに驚かされました。少し戸惑いましたが、この環境なら安心して生活できると確信したそうです。

俊介さんが大館で最初に手掛けた仕事は料理教室と出張料理。その後、念願のレストランを開業し、愛結さんもスイーツやスパイスカレーなどを扱うECサイト「toimmin(トイミン)」を起業。現在は、2021年に大館駅前に移転したイタリアン「toimmitotreso(トイミトトレソ)」を夫婦で経営しています。営業は週3日のランチと完全予約制のディナーなので、家族と過ごす時間がふえましたと愛結さん。俊介さんも「以前に比べると、生活は激変しました」と口を揃えます。家族で過ごす時間が増え、仕事でも新たなスタイルを確立した塩原夫妻にとって、大館での暮らしは満足できるもののように感じました。



移住に関するQ&A

- Q1** 秋田県や市町村の制度や支援は利用しましたか？
A1 愛結さん：大館に戻ることを決めてから、大館の情報を求めて「Aターンサポートセンター」へ行きました。その後も、大館市の担当者の方から、子どもたちの保育園や引越しなどについてアドバイスをいただきました。
- Q2** 秋田暮らしについて気に入っている点を教えてください。
A2 俊介さん：神奈川県出身の自分にとって、やはり冬の雪の多さは驚きでした。雪下ろしや車の運転については、未だに慣れません。でも、それも含め、メリハリのある四季の自然はいいなと思っています。こういう環境で子どもたちが育つのもいいことだと感じています。
- Q3** 移住して改めて気づいたことはなんですか？
A3 俊介さん、愛結さん：大館に来たことで、仕事も子育ても夫婦の共同作業だということを改めて実感しています。私たちが変わったことで、子どもたちの笑顔もかなりふえました。気持ちの余裕が、家族の関係をよりあたたかいものにしてくれたのだと感じています。
- Q4** 秋田に移り住んでからライフスタイルの変化はありましたか？
A4 俊介さん、愛結さん：自分たちの店を営業して、子どもも3人になったのですが、感覚的には時間の流れ方がゆったりとしています。子どもたちと一緒に過ごす時間も十分に取れるようになりました。店の営業があるので、本格的なことはできませんが、家の庭にテントを張って、子どもたちとキャンプのようなことをして楽しんでいます。時間を見つけて、キャンプにも行きたいです。
- Q5** 移住後の生活で驚いたことはありますか？
A5 俊介さん：大館市で暮らし始めて、一番驚いたのは、妻の親戚関係の多さとお付き合いの濃さです。今まで体験したことのない人間関係に最初は驚きました。けれど、こういうあたたかい人間関係があれば、妻も安心して子育てできるのかなとも思っています。自分自身は、無理に合わせるのではなく、自分らしいやり方で自然に馴染んでいきたいと思っています。



interview
移住のセンパイinterview

移住のセンパイ
interview

移住で得たものは
新たな夢と故郷での
穏やかな暮らし

東京都 ▶ 大仙市

花火師

わたなべ ま お
渡邊 真央さん

— 移住歴 1年目

— 2人家族



02

自分らしいブラウスづくりを
故郷で…という目標を胸に

大仙市で育った渡邊真央さんは、夢だった服飾系の学科がある東京の大学へ進学。卒業後、語学留学で渡ったロンドンで名門テーラーの職人と出会い、紳士服の仕立ての繊細さと手間の多さに惹かれ、洋裁師の道を選びました。その後12年間、東京のテーラーで腕を磨きました。

30代に入り、自分のやりたいことは何か、住みたい場所はどこかということを考えるようになった渡邊さん。故郷に帰りたい思いはあったけれど、帰る理由を明確にしてから行動したいと思案する時間が3年ほど続いたといいます。

やがて、「ナチュラルで着やすい白いブラウスを作りたい。農業に取り組む友人たちとの会話をヒントに、コーヒー豆や玉ねぎの皮などの農業廃棄物を使って優しい自然な色に染めてみたい」という夢の形ができ、渡邊さんの中で「故郷移住計画」の歯車が回り始めました。



「花火師」への挑戦も加わり、
新しい生活が始まりました

染色&ブラウスづくりという目標を持った渡邊さんは、経済的に支えてくれる仕事も探し始めました。Aターンサポートセンターを利用したり、SNSで就職情報を探すうちに「響屋大曲煙火」の求人情報と出会い、花火師の世界に飛び込みました。「結局、私は根っからの職人氣質。花火の世界は、複雑で繊細、奥が深い。覚えることが山積みの毎日が楽しくて」と話します。

現在、実家でお母さんと二人暮らし。ありふれた日常の景色の美しさや、季節の食べ物の美味しさに触れながら、日々を楽しんでいます。

渡邊さんは「染色&ブラウスづくりは、時間をかけて準備をしてもいいのかな」と、考えて始めているといいます。その道は長い付き合いになりそうです。その時は、友人を軸にした地元のネットワークが強力なサポーターになってくれそうです。



移住に関するQ&A

- Q1** 秋田県や市町村の制度や支援は利用しましたか？
- A1** 東京有楽町にある「Aターンサポートセンター」へ行って、秋田の就職情報を調べました。また、移住支援金のサポートも受けました。支援金はこれから取り組みたいと思っているブラウス製作と染色の事業のために有効に使いたいと思います。
- Q2** 秋田に移り住んでからライフスタイルの変化はありましたか？
- A2** 自然と、早起きになりました。家の近くに川があり、その河原を愛犬を連れて散歩をしたりしながら、ゆっくりと過ごしています。日曜日にも近所で開かれる朝市をのぞいたりして楽しんでいます。心身ともに健康になった気がします。花火師として働き出したばかりなのですが、子どもの頃から見ていた「大曲の花火」が、今年はどういう風に見えるのかと思うと楽しみです。
- Q3** 移住後の生活で困ったことはありますか？
- A3** 長い間運転していなかったもので、秋田に戻ってからペーパードライバー講習を受けました。今は車通勤をしているので大分慣れましたが、雪道の運転が少し不安です。それ以外は、特に困ったことはありません。
- Q4** 秋田暮らしの好きなおとろや気に入った風景を教えてください。
- A4** 例えば、通勤途中に目にするありふれた景色でさえもきれいだなと思うことが増えました。毎日、そういう気持ちになれるのは、とても幸せ。生まれ育った町ですが、17年間、離れて全く違う環境の中で暮らしていたから、改めて感じられたことかもしれません。
- Q5** 今回の移住を通して改めて気づいたことはなんですか？
- A5** 自分が生きやすいと感じる場所で、目指す夢を形にするための移住だったので、Uターンという感覚はあまりありませんでした。故郷に戻って、家族や同級生という人間関係に包まれる安心感がありました。



interview
移住のセンパイinterview

移住のセンパイ
interview

安心して子育てできる環境を
ふるさとに求めて
移住を決めました

宮城県 ▶ 秋田市

会社員

おの かい
大野 快さん

妻 ◎ 柚那さん
長男 ◎ 向葵さん

— 移住歴 3年目
— 3人家族



03

妻と子どもとの大切な時間を
ふるさとに求めました

大野快さん、柚那さんは、秋田県立大学の一学年違いの先輩後輩という間柄。大学卒業後、快さんは宮城県で食品卸関連の会社に就職し、しばらくの間、遠距離での生活が続きました。「コロナ禍と重なり、一人で過ごす時間が大変でした。」と当時を振り返ります。結婚をきっかけに、ご夫婦は「子どもと安心して暮らせる秋田に戻りたい」という夢を持ち始めました。

快さんは大仙市出身、柚那さんは潟上市出身。移住先候補はそれぞれの実家の近くと、自分たちが求める支援があった秋田市に絞られました。「安心できる環境で子どもを育てるためには、どこで暮らすのがいいのかを最優先に考えました」と快さん。2021年9月、秋田市へと移住した快さんは数社との面接を経て、「トラスコ中山株式会社秋田支店」へ就職。職場環境もよく、気持ちよく働いているそうです。本来は転勤の可能性もありましたが、秋田限定勤務を希望して働いています。



念願の新居を建て
新たな生活がスタート

2022年春には、待望の向葵くんが誕生。子どもと一緒に楽しむ生活が始まりました。

現在、二人の移住計画は第2段階に入り、新しい局面を迎えています。働きたいという柚那さんの希望を叶えるために、実家のある潟上市に新居を建築中です。料理好きの柚那さんの夢だったアイランドキッチンがあり、完成を楽しみにしています。

まだ、二十代半ばと若い二人には、少し先の未来に叶えたい夢があるそうです。柚那さんは「子育て中心の生活が落ち着いたら、カフェを開きたいんです」と話してくれました。その隣で、快さんも楽しそうに頷いています。二人の人生は、この先、長く続いていきます。その都度、新しい夢や目標に向かいながら暮らしていきたいと考えているようでした。



移住に関するQ&A

Q1 秋田県や市町村の
制度や支援は利用しましたか？

A1 秋田市の「結婚新生活支援」「若者の移住促進事業」、秋田県の「奨学金返済助成手当」などを利用しました。大学時代に奨学金をもらっていたので、奨学金返済助成手当はありがたかったです。経済的にも納得できる形で移住したかったので、利用できる制度や支援を調べて、しっかり利用させてもらいました。

Q2 秋田に移り住んでから
ライフスタイルの変化はありましたか？

A2 秋田に戻ってから、車を購入しました。娘の成長に合わせて、家族3人でドライブに出かけることも増えました。行き先は、子どもが楽しめる場所が多くなります。楽しそうに遊ぶ息子の笑顔を見ると、秋田に戻ってきて良かったと思います。



Q3 秋田に戻って暮らし始めて
改めて気づいたことはありますか？

A3 妻の実家近くに新居を決めたのは、成長していく子どもの将来を考えたからでした。ご両親が子育てに協力的だったこともとてもありがたかったです。私の実家でも、今回の移住を応援してくれました。今回の移住に関して、私の決断を受け止めて、自由にさせてくれた親の気持ちに改めて気づきました。

Q4 今回の移住に関してご夫妻で話された
最優先事項はなんですか？

A4 秋田に戻ろうと決めた時に、夫婦揃って考えていたのは「子育てを大切に考えた生活を守りたい」ということでした。それを最優先に考えながら仕事や住む場所を選択していきました。決めなければいけないことがたくさんありましたが、軸になる部分の思いがぶれていなかったため、大きく迷うことなく移住できたのだと思っています。



移住のセンパイに聞きたい！



自然に囲まれた暮らしをしたい
なら ゆうき
奈良悠生さん (青森県出身) 東京都 ▶ 東成瀬村



Q1 秋田県への移住を思い立った経緯について教えてください。
田舎で育ったこともあり、東京での生活よりも田舎の自然に囲まれた生活をしたかったからです。

Q2 現在の移住地で好きな風景、場所はありますか？
東北唯一の滝×サウナが味わえる「井戸端サウナ」です (笑)

Q3 移住したいという思いから決断まで至った理由はなんですか？
前職の映像制作を強みにできる地域おこし協力隊の募集があったからです。

Q4 移住後暮らしてよかったと思うことは何ですか？
山菜ときのこが採りきれない、、毎日「さいこう」な日々を過ごせています！
奈良さんの詳しいインタビューはP28へ

**秋田の人のあたたかさ
夏の過ごしやすさが魅力的でした**
みつくら みさき
三ツ倉 美咲さん (大館市出身) 徳島県 ▶ 秋田市



Q1 秋田県への移住を思い立った経緯について教えてください。
地元である秋田へお店を出すことがきっかけです。夏の過ごしやすさが魅力的でした。

Q2 県や市町村の新制度や支援は利用しましたか？
はじめての秋田暮らし応援事業補助金や、起業支援事業費補助金の女性・若者応援枠を利用しました。

Q3 移住後困ったことや、不便だなと思ったことはありますか？
氷止めやスタッドレスタイヤなど冬にお金がかかることです。

Q4 移住後暮らしてよかったと思うことは何ですか？
離れていたからこそ、秋田の人たちのやさしさや、あたたかさを感じることができて良かったです。
三ツ倉さんの詳しいインタビューはP23へ

**結婚後、家族も自分も近くに住んでいる
という安心感から移住を決意**
Tさん (秋田市出身) 東京都 ▶ 秋田市

Q1 秋田県への移住を思い立った経緯は？
元々夫婦共々秋田出身ということもあり、家族のためにも近くに住んでいた方が家族も自分たちも安心できると思ったからです。

Q2 雪国秋田での冬の生活はいかがですか？
夫婦でスノボに行きます。必需品はやはりスノーブーツです。すぐに準備しました。冬は寒いですが、その分鍋が美味しいです。きりたんぼ鍋がやはり1番ですね。

Q3 現在の移住地で好きな風景、場所はありますか？
秋扇湖の水没林、秋田市の下浜地区から由利本荘に向かう国道沿いの海の景色 (うっすらと寒風山が見えます)、栗駒山の紅葉など、、挙げるとキリがなくなりそうなのでこの辺りで。

**家族を守りたいという思いから
移住を決めました**
Wさん (秋田市出身) 東京都 ▶ 秋田市

Q1 秋田県への移住を思い立った経緯は？
地元の両親も高齢になってきて、実家を守りたいと考えようになったからです。

Q2 移住の決め手は何ですか？
Aターンフェアを通じて、秋田にもいろいろな仕事があると分かったからです。また、東京と2拠点生活ができる目途が立ったことも理由でした。

Q3 移住後困ったことや不便だなと思うことは何ですか？
他県に移動する手段が、東京と比べると不便なのが難点です。

秋田への移住を考え始めたら…



秋田への移住を具体的に考えたい。
でも何から始めればいいのか？
そんなときに役立つ支援制度のご紹介です。

移住定住登録

秋田県外から秋田県に移住を希望する方が対象の登録制度です。
ご登録いただくと、秋田暮らしの実現に向けて継続したサポートを受けることができます。

1. 移住ニーズに合わせた情報を個別にお知らせ
2. 支援メニューや移住相談会などの情報を提供
3. 先輩移住者との交流会などで移住に向けてサポート
4. 移住後の暮らしに関する相談にも対応

秋田県移住・定住総合ポータルサイト
“秋田暮らし” はじめの一歩
各相談窓口でも登録可能です。



さらに！ 移住定住登録をして秋田に移住すると、こんな特典が！

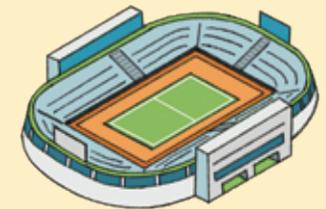
移住お得区プレゼント

秋田のプロスポーツチームの無料招待券などをプレゼント！「スポーツ立県あきた」を体感しよう。対象となるチームなど、詳しくはお役立ち情報(P43)へ！



ウェルカムパスポート

秋田県内27か所のスポーツ施設や美術館、博物館などでさまざまな特典が受けられる「ウェルカムパスポート」をプレゼント！どんどん活用して秋田ライフをお得に



移住相談なら、 Aターンサポートセンターへ!

いざ、移住を検討するようになったとき「どこに相談したら良いの?」と思うはず。首都圏でAターンのすべてをサポートしてくれる窓口のご紹介です。



進藤相談員

幅広い相談に対応します!

- 秋田暮らしの魅力のご紹介 (自然環境、風土、教育・子育て環境など)
- 仕事(就職・就農・起業など)情報のご案内・相談対応
- 移住相談会など各種イベント情報のご紹介
- 各種移住支援制度のご紹介・あっせんなど



お気軽に
ご相談
ください!

大沼相談員

相談員に聞いてみました!

Q. 何から相談したら良いかわかりません。

A. 多くの方が、いろいろな思いで相談に訪れます。まずは、お話を聞かせてください。その上で、私たちが連携している関係機関とともに、秋田への移住をバックアップします!

Q. どんな相談が多いですか?

A. 仕事に関する相談が多いです。最近では起業やライフスタイルに合った働き方の相談も増えています。就職相談窓口「Aターンプラザ秋田」(P19)と連携し、求人情報の提供や就職相談にも対応。暮らしと仕事の両面からサポートします!

相談の流れ

STEP 1

相談予約をしよう。

まずは「Aターンサポートセンター」の窓口に、電話(080-9292-5195)かメール(akita1@furusatokaiki.net)で相談予約を。

STEP 2

窓口へ行こう。

移住までに必要なことなどを一緒に整理し、相談者のニーズに応じた情報提供や、各種窓口を紹介します。
※窓口へのご来場が難しい方には、TELまたはメールでも対応します。

オンライン
相談も
実施して
います!

STEP 3

セミナーやイベントに参加しよう!

首都圏などで開催されている秋田の移住に関するセミナーやイベントの情報もお伝えします。興味があれば、ぜひ参加してみましょう!

あきたで暮らそう! Aターンサポートセンター

相談日 火曜~日曜(祝日・お盆・年末年始期間・臨時休館除く)

相談時間 11:15~18:00

場所 〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館8F NPO法人ふるさと回帰支援センター内

アクセス JR有楽町駅(京橋口・中央口(銀座側))下車、東京メトロ有楽町駅(地下直結)

連絡先 ☎080-9292-5195 Email: akita1@furusatokaiki.net

オンライン相談は
こちらから



仕事を探すなら!

移住にあたり、一番気になるのは「仕事」。県外にしながら秋田での就職先を探す方法がわからないという方に、Aターン就職に向けたサポートをご紹介します。



就職相談窓口「Aターンプラザ秋田」がサポート!

Aターン就職専門の相談窓口です。専門の相談員が希望の職種・地域などを丁寧に個別ヒアリングし、県内企業の求人とのマッチングをサポートするほか、応募書類や面接のアドバイスも行います。有楽町にある「Aターンサポートセンター」(P18)と連携しているので、暮らしと就職の両面から、あなたの移住をバックアップします。対面のほか、電話やメール、オンラインでの相談も可能です。



Aターンプラザ秋田(無料職業紹介所)

相談日 月曜~金曜(祝日・年末年始期間は除く)

相談時間 9:00~17:45

場所 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館7F(秋田県東京事務所内)

アクセス 東京メトロ 永田町駅(地下直結)

連絡先 ☎0120-122-255 FAX:03-5212-9116 Email:a-plaza@mail2.pref.akita.jp



まずはAターン登録をしよう!

Aターン登録とは...

秋田県内の企業に就職したい県外在住者と人材を獲得したい県内企業を結ぶ登録制度です。Webサイト「あきた就職ナビ」から登録できます。Aターン就職をお考えの皆さんはぜひご登録ください!



"Aターン登録"すると、こんなメリットがあります

1 スマホ・PCから手軽に求人情報をチェック&応募

「あきた就職ナビ」で、職種や勤務地で求人情報を検索し、ワンクリックで応募することができます。またマイページで、希望職種の新着求人やこれまでの応募状況を確認できます。

2 企業からの応募リクエストが届く!

企業から、自社求人への応募のオファーが届くことがあります。このリクエストに応じて応募することで、就職マッチングの可能性が高まります。

3 面接交通費の助成あり!

県外在住者(社会人に限る)が秋田県内で面接を受ける場合、交通費の助成を受けることができます。詳しい要件は「あきた就職ナビ」でご確認ください。

4 まだまだある!登録のメリット

就職相談会「Aターンフェア」の開催情報や、Aターン就職情報誌『あきた日和』の提供のほか、移住に関する情報も登録することで「移住定住登録(P17)」が同時にできます。

あきたまるごとAターンフェアに参加しよう!

秋田へのU・I・Jターンを希望する方が、企業の担当者や市町村の担当者から直接お話を聞ける移住・就職相談会です。東京での開催のほか、正月やお盆の帰省時期には秋田でも開催。不定期で「オンラインAターンフェア」も開催しています。企業ブースでは職場環境や求人内容の説明が聞けるほか、市町村ブースで地域の情報や各種支援制度の相談も受け付けています。お一人でも、家族連れでも参加OK! お気軽に会場へお越しください。



開催スケジュール

東京会場	東京都立産業貿易センター 浜松町館	2023年10月22日(日)
		2024年2月3日(土)
秋田会場	秋田テルサ	2023年8月12日(土)
	ANAクラウンプラザホテル秋田	2023年12月30日(土)

\ 特設サイト /



※参加企業などの情報は、特設サイトに随時掲載します。

Aターンフェア 過去の東京開催の様子



県内企業の情報ここにもあります!

新卒向け秋田県就活情報サイト 「KocchAke!(こっちゃけ!)」

企業情報800社以上! 企業を紹介する動画や、先輩社員のインタビューも。既卒者も参加できるイベント情報なども掲載しています。

KocchAke!



こっちゃけ

県内企業の魅力を発信中! 「WE LOVE AKITA」

秋田県出身者が東京で立ち上げた団体「WE LOVE AKITA」が、県内企業を取材し、その魅力をWebサイトで発信しています。



WE LOVE AKITA

移住相談や仕事を探したい!

公益財団法人秋田県ふるさと定住機構

秋田県内のAターン就職支援、移住・定住相談窓口です。県外にお住いの方が新しい暮らしを始めるには、ご不安の解消や、必要な情報収集が不可欠です。秋田窓口では、Aターン就職支援、移住相談の両面からワンストップで「働き方・暮らし方・関わり方」のご提案をさせていただきます。また、移住後のお仕事、暮らし等様々なご要望にも対応しております。ご家族の方もお気軽にお問合せください。皆様のご相談をお待ちしております。

県内での
窓口相談は
こちら!



場所 〒010-1413 秋田市御所野地蔵田3-1-1 秋田テルサ3F
連絡先 TEL:018-826-1731 FAX:018-826-1732

Aターン就職マッチング支援サイト
あきた就職ナビも
あわせてチェック!



あきた就職ナビ



令和5年10月オープン!

秋田県あきた暮らし・交流拠点センター(アキタコアベース)

秋田への移住や、秋田に関心がある人たちが「つながる」場所が、東京駅近くにオープン! 県外在住の方を対象に、秋田への移住と就職に関する相談ごとに対応。今後、交流イベントなどの開催も予定しています。秋田で暮らしたい、秋田とつながりたい、秋田を知りたい人たちが、気軽に立ち寄り、集うことのできる拠点として、ぜひご活用ください。

業務内容 ●移住・就職相談のワンストップでの実施
●移住や関係人口に関する交流会やセミナー等のイベントの開催
●秋田の魅力に関する様々な情報の発信

開設予定日 2023年10月1日(日)

開館時間 10:00~18:00

休館日 毎週火曜日、5月3日~5日、8月13日~15日、12月29日~1月3日

場所 〒104-0031 東京都中央区京橋二丁目6番13号 京橋ヨッギビル1階

アクセス ●JR東京駅 徒歩7分 ●東京メトロ銀座線京橋駅 徒歩2分
●都営浅草線宝町駅 徒歩2分



事業を始めよう!

秋田で自分なりの事業を始めるとしたら…?
ひとつは「起業」という選択肢。そしてもうひとつが「事業承継」という選択肢。
そんなときに頼れる場所や制度をご紹介します。



起業したい

まずは相談してみましょう! 秋田でゼロから事業を始めたい!というときに、相談できる窓口です。

公益財団法人 あきた企業活性化センター

起業を目指す方に対し、企画・構想の段階から事業化までをサポートします。事業計画へのアドバイスや、補助金の紹介、創業支援室のご案内のほか、起業家の交流イベントも開催しています。

場所 〒010-8572 秋田市山王3丁目1-1
秋田県庁第二庁舎2階

連絡先 総合企画部 総合相談課
TEL:018-860-5610

HP <https://www.bic-akita.or.jp/>



起業する地域の商工会議所・商工会

商工業の振興発展に努めてきた商工団体としての強みを活かし、夢やアイデアの実現・事業化をプラン作成からトータルサポートしています。起業の夢を応援する創業塾など、商いのプロによるバックアップが充実しています。

商工会議所・商工会の
情報は
こちらから!



起業支援事業費補助金 県内で起業を目指す方に、必要な経費の一部を助成します。

	女性・若者・学生応援枠	地域課題解決枠*
対象者	女性や若者(40歳未満)で 県内で起業を目指す方	県内で地域課題を解決する 事業計画により起業を目指す方
補助率 補助額	1/2以内 100万円以内 Aターン・移住者の場合 1/2以内 150万円以内	1/2以内 400万円以内
対象経費	設備費・機械器具費・構築物費などの事業拠点費、人材育成費、広告宣伝費、旅費、人件費	
問い合わせ 申請窓口	起業する地域の商工会議所・商工会	

※一定の要件を満たした移住者が「地域課題解決枠」に申請し、採択・交付決定された場合、最大100万円の移住支援金制度の支給対象になる可能性があります。(P40参照)

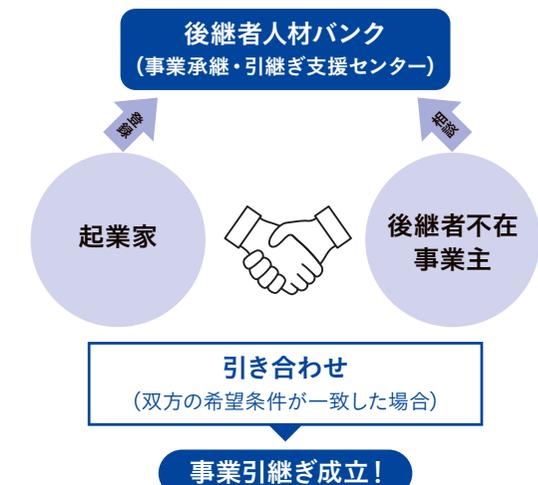
事業承継

「後継者がいない」「事業承継に不安がある」といった課題を抱える事業者が増えてきています。そこで、これらの事業者と新たに起業したいという方のマッチングを行い、事業承継のサポートを行っています。まずは「秋田県後継者人材バンク」に登録してみませんか? 登録を希望する方は、秋田県事業承継・引継ぎ支援センターまでご相談ください。

事業承継のメリット

- 前の経営者の経営資源を承継できる
- 創業コストを抑えられる
- Aターンで経営者に!

お問い合わせ 秋田商工会議所
秋田県事業承継・引継ぎ支援センター
TEL:018-883-3551
<https://akitacci.or.jp/hikitsugi/>



先輩に聞きました!

秋田市で「kitchenてん」をオープン

佐藤 貴志(さとう たかし)さん
三ツ倉 美咲(みつくら みさき)さん

カジュアルにフルコースを 楽しむことができる 洋風レストラン「kitchen てん」をオープン

2021年3月に徳島県から秋田市へ移住し、その後12月に「kitchen てん」をおふたりで起業。おふたりにきっかけを伺うと「仕事先のレストランで出会い、働いていくうちに食に魅力を感じました。その後知人から徳島県の飲食店をたて直してほしいと声をかけられ、ふたりで徳島県へ移住を決意、3年間生活し、お店も軌道に乗った頃、地元にお店を出したい!という思いから秋田市へ戻り、「はじめての秋田暮らし応援事業」や「企業支援事業費補助金」に後押しされ、洋食店「kitchen てん」を起業しました」とのこと。秋田市へ戻り現在はお客さんや周りの方々に助けられながら、おふたりの夢である「地域の人に愛される店づくり」を目指しています。店内は落ち着いた雰囲気の中でゆっくりとお食事を楽しめます。人気メニューの「ワンプレートフルコース」は一皿で完結することで、マナーを気にせず、好きな時に好きなものから食べられるため、気軽にフルコースを楽しむことが出来ます。他にもビーフシチューやハンバーグなどシェフこだわりの美味しいお料理が盛りだくさんです。

地元の人に愛される
お店を目指して



profile

さとう たかし○秋田市出身、学校法人敬愛学園国学館高等学校調理課を卒業後、様々なホテルのレストランで調理を学び、徳島県へ移住後レストランでシェフを経験。その後秋田市で「kitchenてん」を起業
みつくら みさき○大館市出身、秋田県立大学で植物や生物に関して学び、その後職先でレストランでのホールを経験し、食に魅せられ、徳島県へ移住後レストランで働く。その後秋田市で「kitchenてん」を起業。

秋田の農林水産業は魅力がいっぱい 就農したい人集まれ!

農業を職業とするには技術、資金、労働力など求められることがたくさん。
秋田県では、就農を目指す人に向けた数多くの支援を行っています。
さまざまな制度を活用して、自分に合った就農スタイルを見つけましょう。

まずは情報集めから!

就農について幅広い相談に対応している
「秋田県農業経営・就農支援センター」の
相談窓口やWebサイトを活用しましょう。

相談日	月曜～金曜(祝日は除く)
場所	〒010-0951 秋田市山王4丁目1-2
連絡先	TEL:018-893-6212 FAX:018-895-7210 https://akita-agri-navi.com



[秋田就農ナビ](#) 🔍

秋田の農業を体験してみよう!

就農準備基礎講座	農業の基礎を学べる座学と講義を実施しています。 就農の可能性を考えたい方に最適の講座です。				
農業法人 インターンシップ	県内の農業法人で、インターンシップを実施しています。 就農したい人集まれ! 希望の農業法人においてインターンシップ(5日間程度) <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="border: 1px solid #ccc;">対象者</td> <td>●秋田県での就農意欲を有する方 ●就農体験に支障のない健康状態の方</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid #ccc;">研修品目</td> <td>●えだまめ ●ねぎ ●米 ●大豆 ●菌床しいたけ ●りんご等</td> </tr> </table>	対象者	●秋田県での就農意欲を有する方 ●就農体験に支障のない健康状態の方	研修品目	●えだまめ ●ねぎ ●米 ●大豆 ●菌床しいたけ ●りんご等
対象者	●秋田県での就農意欲を有する方 ●就農体験に支障のない健康状態の方				
研修品目	●えだまめ ●ねぎ ●米 ●大豆 ●菌床しいたけ ●りんご等				

農家民宿・農家レストランの起業という方法も!

農泊ビジネス起業応援事業

秋田県では、農泊ビジネス(農家民宿、農家レストラン等)の起業による移住・定住を応援しています。

- | | |
|----------------------|--|
| 農泊ビジネス起業実践研修 | ●起業・経営にかかる知識習得及び実践者の下での実務体験等を実施
●研修期間2泊3日 / 20歳以上概ね60歳以下の方が対象 |
| 農泊ビジネス起業支援補助金 | ●施設改修等への支援を実施
●最大50万円 / 補助対象額の1/2以内 |

農家民宿の1日を
紹介した動画は
[こちら](#)



お問い合わせ 秋田県農林水産部 農山村振興課 調整・地域活性化チーム
TEL:018-860-1851

YouTubeチャンネル
「秋田花まるっグリーン・ツーリズム推進協議会」▶

自分が目指す就農スタイルを検討しよう!

「就農」には大きく分けて2つのスタイルがあります。
安定した収入を得ながら農業に従事することができる「雇用就農」と、自分で農業を営む「独立就農」です。
自分が目指す農業のかたちに合う方を選びましょう。

1 農業法人に就職(雇用就農)

農業法人などで従業員として農業に従事する方の場合です。

農業法人とは?

法人形態で、農業を営んでいる会社などを言います。家族だけで設立した法人から、従業員が100人を超える規模のものまで、さまざまなタイプがあります。経営作目も米だけといった単一作目の法人は少なく、複数作目を組み合わせた法人が多くなっています。中には、生産、加工から販売まで一貫した経営をしている法人もあります。



秋田県内の農業法人数
955法人
(2023年6月時点)

①就職先の農業法人を探す

インターンシップ登録法人を中心に秋田県農業公社がサポートします。

③就職してから、独立を目指すことも可能!

雇用就農後、技術やノウハウを身につけて、独立就農を目指すことも可能です。その場合も支援機関が継続して相談に応じます。

②農業の技術を身につける

技術に不安がある場合でも、農業法人などに雇用され、現場での仕事を通じて技術やノウハウを習得できる制度もあります。



2 自分で農業経営(独立就農)

新たに農業経営を開始しようとする新規参入者は、農地や農業用機械などの営農基盤を持たないため、就農するための自己資金が必要です。また、農業技術や農業経営のノウハウの習得も必要になりますので、自治体のサポートや研修制度を活用しましょう。

○未来農業のフロンティア育成研修

秋田県の研究機関で行う研修で、営農に必要な経営・生産技術を習得できます。(就農時の年齢が50歳未満の方が対象。研修期間2年)

○地域で学べ! 農業技術研修

市町村の農業研修施設などで、農業技術や経営管理能力の向上を目指します。(就農時の年齢が50歳未満の方が対象。研修期間2年以内)



このほか、県や市町村の関係機関による地域の「就農定着支援チーム」が、就農準備から定着までの生産技術や経営管理などについて継続的にサポートします。

林業・漁業もバックアップ!

山と海に抱かれた自然豊かな秋田は、「林業を始めたい」「漁業に従事したい」という人を多方面からサポートしています。未経験の人も、まずは情報収集から始めて就業への第一歩を踏み出しませんか?

林業

秋田の林業への就業を応援します!

全国トップクラスの森林資源を誇る秋田では、林業会社や森林組合で活躍したい方の就業を応援します!

林業の就業相談窓口『あきた森の仕事ナビ』

林業の就業希望者に対し、林業会社の求人情報を提供するとともに就業相談やマッチング、斡旋など、就業までを専門のスタッフがサポートします。また、必要に応じて林業の仕事を体験できる研修や、就業前に必要な資格が取得できる研修を紹介するので、『あきた森の仕事ナビ』にご相談ください。

公益財団法人 秋田県林業労働対策基金
無料職業紹介所『あきた森の仕事ナビ』
(秋田県林業労働力確保支援センター)

連絡先 TEL:018-864-0161 FAX:018-827-5678

秋田県林業労働対策基金



秋田林業大学校

2年間の研修で、現場で活かせる知識・技術を習得し、将来の秋田県の林業を担う若い技術者を育成します。

1年目/基礎力の習得

- 基礎的な知識と技術
- 林業機械の基本操作
- 事業管理の基礎知識

2年目/実践力の習得

- 長期間のインターンシップ
- 林業機械の総合操作技術
- マネジメント能力

知識・技術・資格を活かして就職へ



相談・お問い合わせはこちら

秋田県林業研究研修センター 研修普及指導室

連絡先 TEL:018-882-4512 FAX:018-882-4443

漁業

秋田で漁業を目指す人を応援します!

秋田県では、漁業就業者の確保・育成に取り組んでいます。漁業の経験がなくても円滑に就業できるよう、就業前相談、実地での短期・長期研修、研修後のフォローアップなど、就業まで一貫したサポートをしています。

資源豊かな秋田の海で漁師を目指そう!



STEP1

トライアル研修 (12日間程度)

本県漁業に興味を持つ方を対象に、短期の基礎的研修を実施します。

STEP2

独立型・雇用型研修 (1~2年)

- 漁業就業を目指す方への、ベテラン漁業者による実践的な技術研修です。
- 研修に必要な費用について助成を行います。

相談・お問い合わせはこちら

あきた漁業スクール(秋田県漁業協同組合中央支所中央南地区内)

連絡先 TEL:0185-23-2281

秋田県農林水産部水産漁港課

連絡先 TEL:018-860-1885 ※就業相談のほか、詳細な研修の内容や必要な手続きについてご案内します。

先輩に聞きました!

古河林業グループ 山一林業株式会社 河原木 良太(かわらぎ りょうた)さん

研修制度や支援があるから安心!

趣味を仕事に、仕事を趣味に活かせる

2017年に千葉県から北秋田市へ移住し、現在は山一林業株式会社に勤めている河原木 良太さん。小さいころからスキーや登山、キャンプなど、アウトドアな趣味を多く持ち、山菜やジビエ料理が好きだったとのこと。

「大学の就職相談会でAターンの担当者との出会い、相談をするうちに、林業を知りました。北秋田市の自然の豊かさや、マタギ文化ともいわれる狩猟に魅力を感じ、その後2泊3日の移住体験に参加。会社見学では林業について、マタギの人からは狩猟について教わり『移住したい』という思いが明確になりました。林業は未経験でしたが、研修制度や支援が整っていたことも後押しとなり、この世界に飛び込むことに不安はありませんでした。

移住後困ったことは、「雪が多いことは大変ですが、だんだん慣れてきました。近所の人が雪かきを手伝ってくれて、周りの人のあたたかさが身に沁みました」。現在はご両親も良太さんの影響で北秋田市へ移住。自宅ではジビエ料理を食べたり、畑を始めたりと秋田の自然を満喫しています。



profile

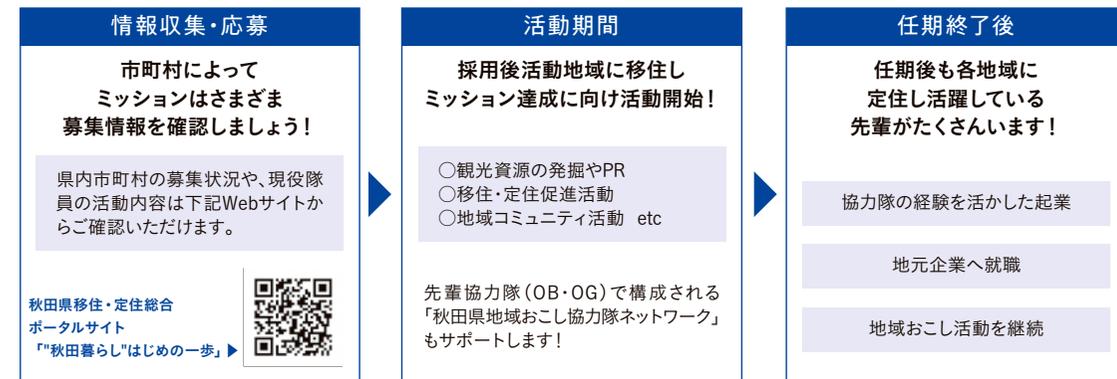
かわらぎ りょうた ○千葉県出身、大学での就職相談会を機に林業の仕事を知り、北秋田市へ移住。その後ご両親も移住し、家族そろって食や自然を満喫している。

地域を元気にする力になる、地域おこし協力隊を募集中!

都市部からの移住者の活躍の場として年々注目度が上昇!
あなたのスキルや経験を活かして、地域を盛り上げてみませんか?

地域おこし協力隊とは?

地方自治体が都市部からの移住者を「地域おこし協力隊」として任命し、地域で必要とされるさまざまな活動を行ってもらい、地域を活性化させる取組です。任期は最大で3年間、待遇は自治体によって異なります。



先輩に聞きました!

東成瀬村地域おこし協力隊 奈良 悠生 (なら ゆうき) さん

やりたいことを見つけない... 背中を押してくれたのが地域おこし協力隊だった

井戸端サウナで「サ活」を体験しませんか?

2020年6月に東成瀬村地域おこし協力隊に着任した奈良悠生さん。「田舎には元から親しみがあり、自然豊かで、自分のことを誰も知らない土地に行きたいと思っていた。日本で最も美しい村、東成瀬村の自然が魅力的だったし、前職の映像制作のスキルを強みに出来ると思い応募した」とのこと。着任後は「井戸端サウナ」を開業。軽トラの荷台にサウナを載せるという完全貸切型サウナを楽しめます。サウナ後の水風呂は滝へダイブ! 冬期間は雪にダイブ! と自然を体感。前職のスキルを活かし、お店のSNSでは素敵な映像や写真が多く、目を引き付けます。



profile

なら ゆうき ○青森県出身、北海道の大学を経て、東京都へと移住。その後東成瀬村の自然の豊かさ美しい景色に魅入られ現在は「井戸端サウナ」を開業。地域活性化を目指し日々楽しく過ごしている。

住まい探しをお手伝い!

移住を決めたら、いち早く見つけたい「住まい」。住まい探しは、自分で不動産会社を回る方法もありますが、「空き家バンク」や各種制度を活用する方法も有効です。自分に合った住まいを見つけよう!!

秋田県住宅リフォーム推進事業

秋田県では、移住世帯の居住環境整備を支援しています。住宅のリフォームや増改築をお考えの方は、ぜひご活用ください。

	定着回帰型	中古住宅購入型
	実家に戻る方や住宅を相続した方など、主に移住先の住居の見通しが立っている方を支援します。	新たに中古住宅を購入し、リフォームや増改築をする移住者を支援します。
対象者	次の全てを満たす方 ●移住・定住世帯が居住する住宅のリフォームなど工事を行う方 ●移住者もしくはその配偶者又はそれらの親もしくは子	次の全てを満たす移住者又はその配偶者 ●中古住宅を購入し、令和4年10月1日以降に所有権を取得した方 ●購入した住宅を持ち家としてリフォームなどをする方
対象住宅	一戸建て(共同住宅可)	一戸建て(築後10年経過した空き家)
対象工事	50万円以上のリフォーム・増改築工事	50万円以上のリフォーム・増改築工事
	補助対象額の20% 最大40万円を補助	補助対象額の30% 最大60万円を補助
	さらに! リモートワーク環境整備費用の相当額、最大20万円を補助	

※県内に本店を有する建設業者と工事請負契約を締結する工事が対象となります。
※令和5年4月1日以降に完了し、令和6年3月15日まで完了実績報告ができる工事が対象となります。

お問い合わせ
秋田県建設部建築住宅課
TEL:018-860-2561

事業の詳細はこちら▶



空き家バンクを利用しよう!

各市町村では、空き家物件情報を集め、新生活の拠点として利用を希望する方へ、売買・賃貸物件などの情報を提供しています。



移住者のマイホーム取得を応援します!

[フラット35]地域連携型

地方公共団体と住宅金融支援機構の連携により、一定の要件のもと、5年間0.25%の金利引き下げが受けられます。

詳細はこちら▶



移住体験住宅のご案内

気になったら
お試ししよう!

本格的に移住を検討するなら、実際に秋田を訪れて感じる事が1番。
そんなときに活用できる体験住宅をご紹介します。(それぞれのQRから、詳細が確認できます)
体験ツアーや体験メニューとセットで使える場合もあるので、詳しくは市町村までお問い合わせください。

秋田市 あきたし



市内中心部、住宅街にあるアパートタイプの
モダンでスタイリッシュなお部屋。

※このほかにも希望するライフスタイルに合った住宅が選べます！
登録した民泊施設を体験住宅としてご利用いただけます。宿泊のご予約後、宿泊の14日前までに宿泊費等の補助について申請ください。
【補助額】宿泊費：最大 5,000円/泊・人(世帯上限10万円、6泊分まで)。
交通費：最大 20,000円/人(世帯上限5万円)

お問い合わせ
秋田市人口減少・移住定住対策課 ☎018-888-5487



鹿角市 かづのし



JR花輪線鹿角花輪駅まで徒歩3分！
鹿角・花輪での暮らしを体験してみよう。

入居期間:1泊2日以上6か月以内
※契約更新可...最長1年間/2026年7月20日までの期間
貸借料など:2~8日2,000円/日 9~29日1,000円/日
1か月~6か月 30,000円/月

お問い合わせ
鹿角市総務部政策企画課 鹿角ライフ促進班
☎0186-30-1310



大仙市 だいせんし



大曲・四ツ屋地区
にある体験住宅
体験メニューと
セットでも使用可能。

入居期間:1泊~14泊 貸借料など:1団体1泊につき
1,000円(税込)。貸し布団代金は1セット2,000円(税別)、
5泊目以降は1セットにつき2,200円(税別)の追加。
休館日:12/29~1/3、全国花火競技大会の前日~翌日まで。

お問い合わせ
大仙市 移住定住促進課 ☎0187-63-1111



羽後町 うごまち



雪国でも安心の
オール電化住宅。

入居期間:3泊4日~13泊14日まで
貸借料など:3泊4日7,500円(冬季:11~4月は3泊4日9,000円)

お問い合わせ
羽後町 みらい産業交流課 ☎0183-62-2111



上小阿仁村 かみこあにむら



コアシティ
自然の中で
生きる喜びが
ここにあります。

入居期間:1泊2日以上、1か月以内
貸借料など:1泊3,000円、1か月の上限40,000円(光熱水費込)

お問い合わせ
上小阿仁村 総務課企画班 ☎0186-77-2221



藤里町 ふじさとまち



おためし暮らしの家
「粕毛の家」
薪ストーブのある
粕毛の小さな家。

入居期間:3日以上30日以内(6月1日~9月30日の期間中は14日以内)
貸借料など:3日で4,000円、以降1日あたり2,000円加算

お問い合わせ
藤里町総務課 企画財政係 ☎0185-79-2111



小坂町 こさかまち



明治の面影を感じる中心部からほど近く
コンパクトなまちで充実の移住体験を。

入居期間:2日以上6か月以下。契約更新可能。
貸借料など:1か月30,000円、1日3,000円
※賃貸期間が1か月未満の場合は、電気、ガス、水道などの使用料は
貸付料に含みます。

お問い合わせ
小坂町総務課 企画財政係 ☎0186-29-3907



北秋田市 きたあきたし



秋田内陸線阿仁合駅に近接！
シェアハウスで快適な移住体験を。

入居期間:1泊2日以上、同一年度内なら2か月以内
※利用目的に応じて入居可能期間の違いあり。
貸借料など:光熱水費として滞在1日あたり500円

お問い合わせ
北秋田市総合政策課 移住・定住支援室 ☎0186-62-8002



由利本荘市 ゆりほんじょうし



「ここわき」
移住体験・
シェアハウス・
住民交流の
複合施設。

入居期間:2日以上6か月以内
貸借料など:日額1,000円 貸し布団代は別途請求

お問い合わせ
由利本荘市 移住支援課 ☎0184-24-6247



にかほ市 にかほし



お試し移住体験住宅
金浦
平屋の3LDKで
Wi-Fiも
完備!!

入居期間:3日以上7日以内
貸借料など:日額1,000円

お問い合わせ
にかほ市商工政策課 ふるさと創造班 ☎0184-43-7600



全国トップレベルの子育て支援

秋田県は市町村と連携し、**保育料や医療費などへの助成**を充実させており、子育て家庭への**経済的な支援は、全国トップレベル**です。



すこやか子育て支援事業

1 保育料助成



子どもの年齢や出生順位、利用施設を問わず、保育料の**2分の1または4分の1を助成**します。



平成30年4月2日以降に生まれた第2子以降と、平成28年4月2日以降に第3子以降が生まれた世帯の第2子以降については、**保育料の全額を助成**します。

平成30年4月2日以降に生まれた第2子以降

平成28年4月2日以降に第3子以降が生まれた世帯の第2子以降

第1子 第2子 第1子 第2子 第3子

保育料全額助成

高額所得世帯の場合、平成30年4月2日以降に第3子以降が生まれた世帯の第2子以降については、所得制限を緩和し、**保育料の2分の1を助成**します。

平成30年4月2日以降に第3子以降が生まれた世帯の第2子以降

第1子 第2子 第3子

保育料2分の1を助成

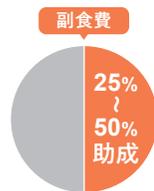
※所得制限により助成を受けられない場合があります。詳細は各市町村にお問い合わせください。

2 副食費助成



令和元年10月から実施された幼児教育・保育の無償化の対象とならない3歳から就学前までの子どもの副食費(おかず代)について、助成をしています。

出生順位や利用施設を問わず、**副食費の2分の1または4分の1を助成**します。



平成30年4月2日以降に生まれた第2子以降と、平成28年4月2日以降に第3子以降が生まれた世帯の第2子以降については、**副食費の全額を助成**します。

平成30年4月2日以降に生まれた第2子以降

平成28年4月2日以降に第3子以降が生まれた世帯の第2子以降

第1子 第2子 第1子 第2子 第3子

副食費全額助成

※1、2とも、子どもの出生時に県外に住んでいた場合も、移住後に適用になります。1、2に加えて助成額や対象範囲を拡大している市町村もあります。詳細は各市町村にお問い合わせください。

子育てファミリー支援事業

平成30年4月2日以降に第3子以降の子どもが生まれた世帯に対し、就学前の子どもを対象とした一時預かりなどの利用料を助成します。所得制限はありません。助成の対象となるサービスや詳しい手続きについては、お住まいの市町村の窓口にお問い合わせください。

- 助成額** 1世帯あたり15,000円(年上限額)
- 対象サービス** お住まいの市町村で実施している一時預かり、病児保育、ショートステイ、トワイライトステイ、ファミリー・サポート・センターなど

福祉医療費助成事業(マル福)

一定の所得制限のもと、**中学生以下の子どもにかかる医療費の一部または全額を助成**します。



- 全額を助成** 0歳児と市町村民税所得割非課税世帯の子ども
- 半額を助成** 上記に該当しない子ども
(ただし1医療機関1か月あたりの自己負担額の上限は1,000円となります)

※助成額や対象者の範囲を拡大している市町村もあります。詳細は各市町村にお問い合わせください。

お問い合わせ 秋田県健康福祉部 健康づくり推進課 国保・医療室 ☎018-860-1351

秋田県では、子育て中の方やこれから子育てをする方に役立つ、県や市町村が実施する事業内容やイベント情報、子どもの遊び場情報など、様々な情報を発信しています。



公式Instagram

公式Twitter

ほかにはこんなサービスも!

あきた子育てふれあいカード

子育て家庭を応援する企業や店舗(協賛店)を利用する際、カードを提示することでさまざまなサービスを受けることができます。協賛店や詳しいサービスの内容はWebサイト『いっしょにねっと。』からご確認ください。

- 対象** 中学3年生以下の子どものいるご家族、妊娠中の方のいるご家族
- 配付場所** 市町村窓口(母子手帳交付時、転入時など)



子育てタクシー

荷物の多い乳幼児を伴う外出のサポートや、保護者に代わり子どもだけの送迎を行うなどのサービスを、子ども・子育てに関する一定の研修を修了したタクシードライバーが提供します。便利な4つのコースがあり、いずれも通常のタクシー料金で利用できます。利用可能な運行会社、利用のしかたなどの詳細はWebサイト『いっしょにねっと。』からご確認ください。

- かんがるーコース** 乳幼児と保護者が同乗する場合
 - ひよこコース** 0~15歳までの子どもだけで乗る場合
 - こうとりコース** 登録している妊婦さんに陣痛が来た場合
 - ふくろうコース** 急なトラブル・夜間の移動などの場合
- ※チャイルドシート、ジュニアシートが必要な場合は設置して迎えて来てくれます。全ドライバーが子育てタクシー保険に加入済みです。
- 利用登録・予約** 各運行会社へお問い合わせください。

お問い合わせ 秋田県あきた未来創造部 次世代・女性活躍支援課 ☎018-860-1553

“学力全国トップクラス”の秘密

「全国学力・学習状況調査」(文部科学省)で、秋田県は**毎年全国トップクラスの成績**を取っています。
なぜ、秋田の学力がトップクラスなの?その秘密に迫ります。

①探究型授業のスタイルが定着!

探究型授業とは、学習の目的をもち、課題についてグループで話し合ったり、学級全体で意見交換をしたりして、子どもたちが主体的に答えを導いていくもの。授業の見通しをもたせるための「めあて・学習課題の提示」や「振り返りの活動」を通して身に付いたことを実感できる授業スタイルです。



②家庭学習が習慣として根付いています!

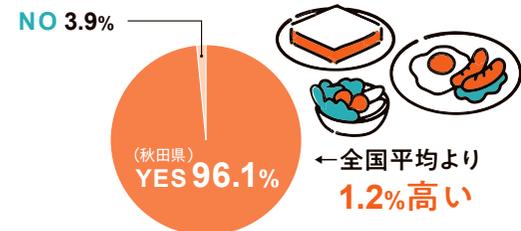
家庭学習とは、宿題とは別に自主的に内容を決めて行う家庭での学習方法で、秋田県内の小・中学生に根付いているものです。小学校低学年の間は、各家庭で保護者が丸付けし、アドバイスをしています。また、毎日教師が子どものノートに目を通し、コメントを書いて返します。家庭と学校が協力して、子どもたちの学びをサポートします。



家庭と学校が一体になって子どもたちをサポート!

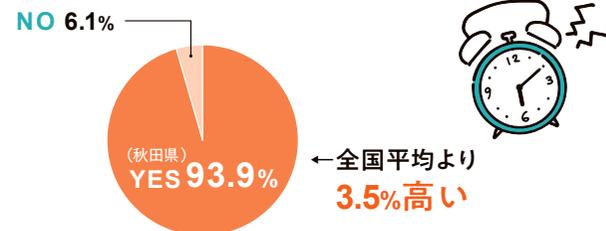
③生活環境が良い!

Q. 朝ごはんは毎日食べていますか?



朝ごはんを毎日食べている家庭が多い!

Q. 起床時間は毎日決まっていますか?



毎日、同じくらいの時間に起きる子どもが多い!

※いずれも「している」「どちらかといえばしている」など肯定的な回答の割合(「R3全国学力・学習状況調査」小学校6年生)

秋田の教育を実際に体感しよう!

秋田の教育や豊かな自然を実際に体感してみませんか?

秋田県では、**県外のお子さんを受け入れる「教育留学」を実施**しています!

※受け入れ実施の可否や募集開始、申込先などの情報は、美の国あきたネット(秋田県公式サイト)でお知らせします。
※「教育留学」についてのお問い合わせは、秋田県教育庁生涯学習課 ☎018-860-5184まで。

秋田型教育留学とは?

秋田型教育留学の3つの特徴

- 1 「オーダーメイド型(長期留学)」と「短期チャレンジ留学」の受け入れ
- 2 学習だけでなく、秋田の地域性を活かした体験活動も重視
- 3 学び・体験・交流を総合的にコーディネートする社会教育主事の配置



オーダーメイド型留学

留学を希望するお子さん一人ひとりに合わせて滞在期間や内容が選べます。

場所 北秋田市、五城目町

- 利用者の要望に応じ、通年で随時の受け入れを実施
- 拠点施設での宿泊や親戚宅・民間宿泊施設など、多様な留学形態を準備
- 重視する内容(学び・体験・交流・生活改善)に柔軟に対応
- 体験型から定住型の利用へ、段階を踏んでステップアップ

五感で学ぶ! 特色ある教育活動

秋田の自然や文化を体験・満喫することができます。



短期チャレンジ留学

夏休みや冬休みに、秋田の豊かな自然を生かした活動や「探究型授業」などを体験することができます。

短期チャレンジ留学Ⅰ(夏期)

- 場所 北秋田市・仙北市
- 期間 令和5年8月中旬~下旬
- 活動 地域の児童生徒との交流や授業体験、地域の自然を生かした体験プログラムをご用意。



短期チャレンジ留学Ⅱ(冬期)

- 場所 北秋田市、仙北市
- 期間 令和5年12月下旬、令和6年1月上旬
- 活動 スキー体験や樹氷見学、ミニかまくら作りなど、雪国ならではのプログラムをご用意。

詳細は、秋田県教育庁生涯学習課のホームページでご案内しています▶

お問い合わせ 秋田県教育庁生涯学習課 ☎018-860-5184



秋田の学び場

秋田には魅力的な大学が数多くあります。
学びたいことがある人も、これから夢を見つけた人も、
自然豊かな落ち着いた環境で学びを深めてみませんか？



世界で活躍したい！

国際教養大学

国際教養大学といえば、素晴らしい建築美を誇る「24時間365日開館の図書館」や、「すべて英語の少人数授業」「1年間の留学義務」という独自のカリキュラムが有名です。学生の4人に1人が留学生、専任教員の58%が外国人で構成される多文化共生キャンパス。日本全国の各地から集まる学生と、世界中から集まる留学生が国境を超えた異文化理解に加えて秋田ならではの地域文化に触れながら学び、生活しています。

24時間365日開館の
中嶋記念図書館



留学生とともに
切磋琢磨しながら、
個を磨きます



POINT ①

すべて英語の
少人数授業

POINT ②

1年間の
留学義務

POINT ③

多文化共生の
キャンパス
ライフ

Be a Global Leader!

多様な価値観に溢れ、混沌とした社会を導くリーダーに求められるのは、他者を認め、決まった答えのない諸問題に果敢に挑戦する力。学修の過程や生活のあらゆる場面で異文化に触れ、日々チャレンジの連続であるこのキャンパスで育まれる力は、未来を切り拓く力になるはずです。

お問い合わせ

〒010-1292 秋田市雄和榑川字奥橋岱
TEL 018-886-5900 E-MAIL info@aiu.ac.jp



詳しい情報は
こちらから

美術を学びたい！

秋田公立美術大学

秋田公立美術大学は社会の大きな変動に呼応し、古い概念にとらわれることなく新しい芸術領域の創造に挑戦する大学です。自然と伝統文化に恵まれた秋田の文化的資源を活用し、芸術のもつ可能性、公共性を探求し、秋田から全国、世界へと、自らの芸術的感性と創造性をいかす社会に貢献する人材を送り出します。

新しい可能性を
見出す美術大学



POINT ①

専攻ごとの
入試ではなく、
美術学部への
総合入試

POINT ②

従来分野や
技法等の
枠組みを廃した
5つの専攻

POINT ③

領域を横断しながら
自分らしく未知の領域を
切り拓く表現の軸と
創造力を獲得

お問い合わせ

〒010-1632 秋田市新屋
大川町12-3
TEL 018-888-8100



詳しい情報は
こちらから

研究がしたい！

秋田県立大学

「システム科学技術学部」と「生物資源科学部」の2つの技術系学部を有し、時代の変化に対応できる問題解決能力と自ら能力を磨くことができる基礎的能力を兼ね備えた人材の育成を行っています。広大な森林に囲まれた自然豊かな研究環境の中で、少人数教育を核とした実践的な指導と、学生自主研究が大きな特徴。また、手厚い就職支援体制により、毎年高い就職率を実現しています。

21世紀を担う
次代の人材育成



POINT ①

学生自主研究制度
入学したら直ぐに研究が
出来る研究プログラム。
1研究あたり15万円を
限度に研究資金を
交付します。

POINT ②

就職に強い!!
キャリアカウンセラーを中心
とした多角的な支援制度が
確立されています。
5年連続就職内定率
100%

POINT ③

少人数教育
教員一人当たりの
学生数は各学年で
約2人。入学から
卒業までしっかり
サポートします。

お問い合わせ

〒010-0146 秋田市下新城
中野街道端西241-438
TEL 018-872-1500



詳しい情報は
こちらから

他にも秋田大学、ノースアジア大学、秋田看護福祉大学など魅力的な大学があります！

秋田で婚活しませんか？

秋田県では、「あきた結婚支援センター」が結婚を希望する独身者への支援を行っています。価値観診断を基にしたAIマッチングシステムが相性のいい相手を紹介してくれる他、結婚コーディネーターによる結婚相談などサポートも充実しています。



- 入会条件**
- ・結婚を誠実に希望し、自ら努力される20歳以上の独身の方
 - ・秋田県にお住まいかお勤めの方
 - ・将来的に秋田県に移住を予定している方 など

入会登録料
10,000円/2年

※秋田県に住民票があればお住まいの市町村にて入会登録料の助成を行っています。

入会面談は
オンラインでもOK!

※本人確認を行うため面談が必要ですが、オンラインでも対応可能です!

入会・詳細はこちらから
あきた結婚支援センター
0800-800-0413

であいぶらざ

秋田県ではこんなイベントを実施しています!

AKITA友活

楽しみながら友達の輪をひろげよう!
大人になったら新たな出会いがなかなか無い...
そんな方には「AKITA友活」。
まずは友達作りからできるイベントに参加してみませんか?



- 【過去にはこんなイベントも】**
- 紅葉狩り友活withあきた舞妓
 - 夏の友活フェスinミルハス

各イベントの詳細や申込方法については「いっしょにねっと」でご確認ください

あいきつぷ あきた結婚応援パスポート「Aiskip」

これから結婚を予定しているカップルや新婚夫婦・パートナーシップ関係にあると証明されたカップルを地域のみならず応援するため、あきた結婚応援パスポート「Aiskip」を交付しています。協賛いただいている店舗でAiskipを提示するとお得な優待サービスを受けることができます!



令和5年6月1日時点
秋田県内に366店舗の
協賛店でご利用可能です!

詳細は「いっしょにねっと」で検索してください(電子申請にも対応しています)

結婚支援窓口
あきた未来創造部
次世代・女性活躍支援課
調整・結婚・若者支援チーム

連絡先 TEL:018-860-1552

移住支援制度を知ろう



令和5年度「はじめての秋田暮らし応援事業」

移住定住登録をして、秋田県内へ移住した方に、10万円を助成します!

事業概要

助成額 1世帯につき **10万円** ※助成申請は、1世帯につき1回までです。

助成対象者
移住定住登録(P17)した上で、令和5年2月1日から令和6年2月29日までに、秋田県内へ移住した方(※)
※移住完了(住民票異動)後、(公財)秋田県ふるさと定住機構(TEL:018-826-1731)へ移住報告し、受理された方

「移住支援金」をご検討の方(同一世帯の方を含む)へ(詳しくはP40)
「移住支援金」の交付を受けている場合、交付申請中の場合、交付対象となる可能性のある場合、又は同一世帯の方が「移住支援金」の交付を受けている場合は、本事業の助成対象外となります。

申請受付期間
令和5年4月1日から令和6年3月11日まで(必着)
(ただし、予算がなくなり次第、受付を終了しますので、あらかじめご了承ください。)

- 提出書類**
1. 補助金等交付申請書
 2. 債権者口座情報 報告様式(振込先口座の通帳の写し添付)
 3. 移住された方及び移住された方の世帯全員が記載されている、発行の日から3か月以内の住民票謄本等
 4. 請求書
- ※申請書様式は、移住完了報告をされた方へ、順次ご送付します。

秋田県あきた未来創造部 移住・定住促進課 移住促進チーム

相談時間 8時30分～17時15分、土日祝休
場 所 〒010-8570 秋田市山王4-1-1 県庁本庁舎5階
連絡先 ☎018-860-1234 Email: iju@pref.akita.lg.jp

移住定住登録と事業の詳細確認は、秋田県移住ポータルサイトからお願いします。
令和5年度はじめての秋田暮らし応援事業

東京圏※からの移住者に 最大100万円+子育て世帯加算の 移住支援金!

※埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

移住支援金とは、東京圏からの移住を促進し、県内企業の人材確保を図ることが目的の支援制度です。国、県、市町村が連携し、一定の要件のもと、移住者の方へ支援金を支給します。

要件

- ◆東京都23区在住者または東京圏から23区内に通勤する方
(直近10年間で通算5年以上(直前の1年間は連続))
- ◆以下のいずれかに該当する場合

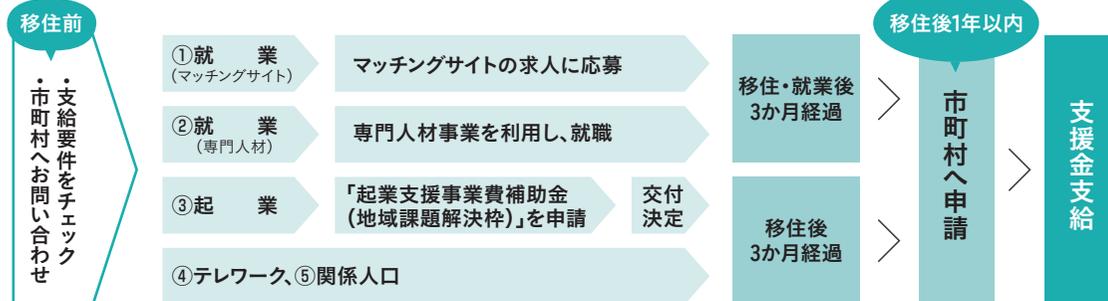
- ①「秋田移住支援金マッチングサイト」にある移住支援金対象求人に応募し就業
- ②国のプロフェッショナル人材事業または先導的人材マッチング事業により就業
- ③「起業支援事業費補助金(地域課題解決枠 P22)」の交付決定を受けた方
- ④本人の意思により移住し、それまでの業務を引き続きテレワークで実施する方
- ⑤市町村が定める関係人口として認められている方

家族で移住
100万円/世帯
+18歳未満の子ども1人あたり
最大100万円
(市町村・移住時期による)

単身で移住
60万円/世帯



移住支援金受給までの流れ



要件の詳細は
こちらから

移住支援金を受給するには、一定の要件を満たす必要があります。要件は市町村により異なりますので、必ず転入前に市町村の移住相談窓口や、下記Webサイトからご確認ください。

秋田県移住・定住総合ポータルサイト「秋田暮らし」はじめの一歩 ▶



リモートワーク移住を全面サポート!

秋田県では、リモートワークを取り入れた移住促進のため、「リモートワーク支援金」を実施しています。移住支援金や秋田県住宅リフォーム推進事業と一部併用も可能です!

リモートワーク 支援金	<p>最長3年間、最大220万円の支給が受けられます! ※移住定住登録が必要など対象要件があるため、移住前の事前相談が必要です。</p> <p>対象経費</p> <p>【移住1年目のみ】 通信環境整備費(インターネット回線工事費、パソコンやプリンターなどの周辺機器の購入経費など)、家賃及び賃貸契約諸費</p> <p>【移住1~3年目まで】 通信費(インターネット回線利用料、プロバイダ料)など、本社等との交通費、レンタルオフィス利用料など</p> <p>補助率 1/2(家賃及び賃貸契約諸費は1/4)</p> <p>限度額 (社員1世帯あたり)1年目100万円、2・3年目60万円</p>			
	<p>東京圏からの移住の場合</p> <table border="1"> <tr> <td>家族で移住</td> <td>単身で移住</td> </tr> <tr> <td>100万円/世帯 +18歳未満の子ども1人あたり 最大100万円 (市町村・移住時期による)</td> <td>60万円/世帯</td> </tr> </table>	家族で移住	単身で移住	100万円/世帯 +18歳未満の子ども1人あたり 最大100万円 (市町村・移住時期による)
家族で移住	単身で移住			
100万円/世帯 +18歳未満の子ども1人あたり 最大100万円 (市町村・移住時期による)	60万円/世帯			
移住支援金 (P40参照)				
秋田県 住宅リフォーム 推進事業	<p>住宅リモートワークの環境整備を含む、移住世帯が居住する住宅のリフォーム費用への助成を行っています。</p> <p>▶ P29「住まい探しをお手伝い!」もチェック</p>			

「リモートワークで秋田暮らし」ガイドブックも発行!

リモートワーク移住のサポートに特化したガイドブックです。県や市町村のリモートワーク移住にかかる支援制度、県内のサテライトオフィスの情報などを掲載しています。移住相談窓口で配布しているほか、下記QRからダウンロードもできます。

リモートワークで秋田暮らし支援金相談窓口

秋田県あきた未来創造部 移住・定住促進課 移住促進チーム

場 所 〒010-8570 秋田市山王4-1-1

連絡先 TEL:018-860-1234 E-mail:iju@pref.akita.lg.jp

詳細については、秋田県移住・定住総合ポータルサイト
「秋田暮らし」はじめの一歩をご覧ください。▶



ワーケーションを実践する 団体を応援します!

ワーケーションは「ワーク」と「バケーション」を組み合わせた造語で、
休暇を楽しみながら働く過ごし方のことです。
秋田県では本県の魅力をPRしてくださる方に支援を行います!



交付対象事業

- (1)秋田県内において、仕事と余暇活動を組み合わせて滞在すること。
- (2)秋田県内に所在する宿泊施設やレンタルオフィス等で仕事を行うこと。
- (3)秋田県内に連続して3泊以上滞在すること。
- (4)参加人数が原則3名以上であること。※秋田県を除く東北5県からの参加においては5名以上であること。
- (5)滞り期間中にワーケーションの様子をSNS等で紹介し、本県の魅力を拡散すること。また、終了後も社内等への広報宣伝に努めること。

交付額	1企業または、1団体につき10万円
実施期間	交付決定の通知があった日から令和6年3月末まで ※令和5年度の募集期間は令和6年2月末までとなっております

お問い合わせ 秋田県あきた未来創造部 移住・定住促進課 移住促進チーム
〒010-8570 秋田県秋田市山王四丁目1番1号
TEL:018-860-1234 FAX:018-860-3871 E-mail:iju@pref.akita.lg.jp

※申請条件・書類一式は
県ホームページをご確認ください▶



秋田でワーケーション!



モデルプラン(県北エリアコースの場合)

DAY1	羽田空港発大館能代空港着
DAY2	MARUWWA(マルーワ)にて終日リモートワーク。 休憩時間にはお散歩がてら、近隣の観光施設 「秋田犬の里」や「秋田犬会館」へ。ランチは地 元民に愛される鶏飯の「花善」へ!(大館市)
DAY3	白神山地ガイドツアー(藤里町)やマタギ暮らしが 満喫できる打当温泉マタギの湯(北秋田市)で 秋田の魅力を体験&仕事の疲れをリフレッシュ!
DAY4	大館能代空港発羽田空港着

秋田ワーケーション推進協会Webサイト
「Wappa」

秋田県のワーケーション情報のチェックや、
パンフレットのダウンロードはこちらから▶



秋田へ
ようこそ!

秋田暮らしを応援する お役立ち情報

移住お得区プレゼント!

秋田県に移住されてきた方へ歓迎の気持ちを込めて、
秋田のプロスポーツチームの無料招待券等をプレゼント! 「スポーツ立県あきた」を体感しよう!

対象 移住定住登録(P17)をして、秋田に移住された方



秋田ノーザンブルッツ

2023シーズン
ホームゲーム 無料招待

一般社団法人秋田ノーザンブルッツラグビーフットボールクラブ
☎018-863-0665
http://www.northern-bullets.com/



ブラウブリッツ秋田

2023シーズン ホームゲーム
観戦チケット引換券

株式会社ブラウブリッツ秋田
☎018-874-9777
https://blaublitz.jp/



秋田ノーザンハピネッツ

2023-24シーズン
ホームゲーム無料招待券

秋田ノーザンハピネッツ株式会社
☎018-835-5582
https://northern-happinets.com/

県内就職後3年間で最大60万円助成します! 奨学金返還助成制度

県内就職者の
奨学金返還を
支援!

県内企業就職者のほぼ全員が対象の「一般分(助成率2/3)」と、成長産業5分野に就職する大卒者などが
対象の「未来創生分(助成率10/10)」の2種類を用意! 募集人数の制限はなく、正規雇用の方に限らず、
中途退学された方や一定の要件を満たす既卒者の方も対象です。

お問い合わせ 秋田県あきた未来創造部 移住・定住促進課 調整・県内定着促進チーム ☎018-860-1248

メタバースで秋田を実感しよう! あきた移住・交流 メタバース万博



秋田にゆかりのあるアバターになって、メタバース空間を楽しみながら、県内市町村や移住支援に関する情報収集が
できる「あきた移住・交流メタバース万博」が開催中です。
入場無料で、PC、スマートフォン、タブレットから参加OK! ぜひご参加ください!

秋田県 25 市町村ガイド

25ある市町村それぞれに移住・定住支援制度があります。気になる市町村でどんなサポートや特典があるのかチェックして大いに活用しましょう！



- 体験助成** 移住体験に要する交通費や滞在費等の助成があります。
- 引越助成** 引っ越しに要する費用の助成があります。
- 住宅助成** 住宅の購入費用やリフォーム費用の助成があります。
- 空き家バンク** 空き家バンク制度を整備しています。

県北地域

米代川流域を中心とした4市4町1村で形成されています。世界自然遺産である白神山地や歴史的観光資源、魅力いっぱいの地域です。

鹿角市 [かづのし]

- 体験助成
- 引越助成
- 住宅助成
- 空き家バンク



人が温かく、笑顔あふれるまちで素敵な鹿角ライフを。

北東北3県の中央にある鹿角市は、りんごや桃などの果樹栽培が盛んです。また、ユネスコ無形文化遺産「花輪祭の屋台行事（花輪ばやし）」や「大日堂舞楽」などの伝統芸能、八幡平・湯瀬・大湯に代表される温泉などが魅力です。

鹿角市 総務部 政策企画課 鹿角ライフ促進班
☎ 0186-30-1310 FAX 0186-30-1122
https://kazuno-gurashi.jp/
E-mail k-life@city.kazuno.lg.jp

移住者への支援制度など

- 宅地建物データバンク物件等を購入・貸借し、修繕や家財撤去等をした場合、最大100万円を補助します。
- 引っ越し費用最大9万円を補助します。

地域限定の移住特典

子育て世帯や若者・単身世帯が民間賃貸住宅へ入居した場合、初期費用・家賃の半額を補助します。（初期費用最大3万円、家賃月額最大2万5千円、最長24ヵ月）

小坂町 [こさかまち]

- 体験助成
- 住宅助成
- 空き家バンク



自然豊かなレトロなまちで、充実の子育てライフを。

国立公園に指定されている十和田湖や、日本一の規模で群生するアカシアの花など、自然豊かな町。芝居小屋「康楽館」をはじめ、町の中心部はレトロな雰囲気漂います。18歳以下の医療費無料、給食費半額など、子育て支援の充実も魅力です。

小坂町 総務課 企画財政班
☎ 0186-29-3907 FAX 0186-29-5481
https://www.town.kosaka.akita.jp/
E-mail kikaku@town.kosaka.akita.jp

移住者への支援制度など

- 住宅の新築に最大60万円、中古物件の購入及びリフォームに最大80万円を補助します。
- 新築の場合は固定資産税が5年間減免されます。

地域限定の移住特典

明治百年通り観光施設「康楽館」「小坂鉱山事務所」「小坂鉄道レールパーク」の施設見学が無料！ さらに「康楽館」での観劇も町民無料の日があります。（月1～2回程度）

大館市 [おおだてし]

- 体験助成
- 住宅助成
- 空き家バンク



きたんぼに曲げわっぱ、秋田犬など名物が多い！

ハチ公のふるさと・大館は、きたんぼの本場としても知られています。田園と都市機能が融合したまちで、市内各地にスーパーマーケットが多数あるほか、低料金の日帰り温泉も20か所あります！ ほどよい田舎暮らしがあなたを待っています。

大館市 観光交流スポーツ部 交流推進課 交流推進係
☎ 0186-43-7149 FAX 0186-59-8021
https://www.city.odate.lg.jp
E-mail kouryu@city.odate.lg.jp

移住者への支援制度など

- 空き家バンクを活用して移住した方に、商品券（単身15万円、世帯30万円を上限）を支給します。
- 空き家バンク登録物件を居住のため購入し、リフォームした場合、改修費用の20%（最大50万円）を補助します。
- 移住して起業する方に最大100万円を補助します。
- 大館市に在住して働きながら奨学金を返還するかに、返還金の一部を助成します。

北秋田市 [きたあきたし]

- 体験助成
- 引越助成
- 住宅助成
- 空き家バンク



羽田空港から70分！ 充実した体験メニューでお待ちしています。

大館能代空港がある北秋田市は、羽田空港まで70分でアクセスできる場所にあり、秋田県内で最も首都圏に近い地域のひとつ。とはいえ、マタギ文化が継承されてきた自然豊かな地域でもあります。森吉山や米代川で自然を満喫する生活はいかが？

北秋田市 総務部 総合政策課 移住・定住支援室
☎ 0186-62-8002 FAX 0186-63-2586
http://www.city.kitaakita.akita.jp/
E-mail iju@city.kitaakita.akita.jp

移住者への支援制度など

- 引越費用や普通自動車運転免許取得費用、住宅取得・改修費用の一部を助成します。
- 奨学金返済中の方や新社会人を対象とする助成金交付事業も実施中！

地域限定の移住特典

北秋田市産の「あきたこまち」10kgと、北秋田市特産品をプレゼント！
※移住定住登録（P17参照）をした方が対象となります。

上小阿仁村 [かみこあにむら]

- 住宅助成
- 空き家バンク



ほおずき以外にも、こはぜやズッキーニが特産品。

上小阿仁村は、山間の小さな村です。美しい自然に囲まれ、さまざまな伝統芸能が今も受け継がれています。天までとどきそうな秋田杉、森と川による豊かな大地、のびのびと子育てできる田舎を、あなたの「ふるさと」にしてみませんか。

上小阿仁村 総務課 企画班
☎ 0186-77-2221 FAX 0186-77-2227
https://www.vill.kamikoani.akita.jp/
E-mail kikaku@vill.kamikoani.lg.jp

移住者への支援制度など

- 第1子の出産に15万円、第2子以降の出産に60万円を贈呈、さらに第3子以降には6歳の誕生日を迎える前月まで月額1万5千円を贈呈します。
- 通勤などのために必要な定期券購入費の半額を補助します。
- 小学校及び中学校の給食費について全額を補助します。
- 村に転入した者1人につき、10万円を交付します。16歳未満の転入者については1人につき20万円を加算して交付します。

八峰町 [はっぽうちょう]

- 体験助成
- 住宅助成
- 空き家バンク



白神山地と日本海の恵みがいっぱいです。

日本海に面した市町村の中で、最も北に位置する八峰町。世界自然遺産・白神山地の麓であり、海と山の恵みが豊かな地域です。全国でもいち早く小中学校へICT教育を取り入れ、教育環境も充実。自然を感じながら子育て支援充実の八峰町で暮らしませんか。

八峰町 企画財政課 広報企画係
☎ 0185-76-4603 FAX 0185-76-2113
https://www.town.happo.lg.jp
E-mail kikaku@town.happo.akita.jp

移住者への支援制度など

- 子育て世帯（夫婦のいずれかが40歳未満の婚姻世帯または18歳以下までの子どもを扶養している世帯）や支え合い世帯の新築に200万円補助します。
- 空き家の購入やリフォームに最大100万円を補助します。
- 町がリフォームした一軒家に家賃最大35,000円で住むことができます。

藤里町 [ふじさとまち]

- 体験助成
- 引越助成
- 住宅助成
- 空き家バンク



首都圏から最も近い世界自然遺産のまち。

ブナの原生林を残す岳岱はパワースポット。優しく湧く湯の沢温泉につかり、休日には素波里園地で遊ぶ。山女（ヤマメ）が舞い、鮎が走る藤琴川。世界自然遺産白神山地。その自然が生み出す水のある暮らし。日々乾きを感じたら藤里町へ。この水は他にありません。

藤里町 総務課 企画財政係
☎ 0185-79-2111 FAX 0185-79-2293
http://f-redesign.jp/ikikata/concept/
E-mail kikaku@town.fujisato.lg.jp

移住者への支援制度など

- NPO法人ふじさと元気塾が移住定住をサポート。お問い合わせ ☎080-1800-7011
- わたず研究所にて移住・子育てをサポート。お問い合わせ ☎0185-74-6511
- 医療費0歳児～高校を卒業するまで無料。
- 県外から移住を希望する方に、お試し移住や家財道具処分、引っ越し、住宅新築・空き家改修、普通自動車免許取得などに係る経費の一部を助成します。
- 移住情報サイト「ふじさとのいきかた」にて各種情報を発信中。

能代市 【のしろし】

体験助成 引越助成 住宅助成 空き家バンク



バスケ、七夕、白神ねぎ 恵み豊かな“おいしい”まち。

木都として栄えてきた能代市。再生可能エネルギーなどの最新技術と、自然が調和するまちです。子育て支援機関・医療機関・商業施設・工業地帯、農地、海・川・山・林もある、あなたの暮らしに合わせられるまち！

能代市 移住定住相談窓口「のしろ暮らし」
(イオンタウン 能代内)
☎ 0185-74-6767 FAX 0185-58-5100
https://www.city.noshiro.lg.jp/
E-mail sougou@city.noshiro.lg.jp

移住者への支援制度など

- 県外から移住し就労する若年世帯に、引っ越し費用や移住に伴う住宅取得費用・住宅賃借費用、暖房器具購入・設置費用、テレワークに係る情報通信機器・整備費用を助成します。
- 無料職業紹介による就業支援のほか、新規就農や起業を目指す方も、さまざまなプログラムで支援します。
- LINEトーク機能による相談受付可。
- Twitter「のしろ暮らし」でほぼ毎日情報発信中！

三種町 【みたねちょう】

住宅助成 空き家バンク



きれいな空気と水で育つ じゅんさいの郷。

じゅんさいで有名な三種町。町民みんなが温かく迎えてくれるのが魅力です。オレンジ色の夕日に会える海岸、みどり色の田園風景、澄んだ空気の中でのんびりとした田舎ライフが味わえます。人の優しさを感じながらゆったりとした時間の中で新しい自分に出会ってみませんか？

三種町 企画政策課 企画係
☎ 0185-85-4817 FAX 0185-85-2178
http://www.town.mitane.akita.jp/
E-mail kikaku@town.mitane.akita.jp

移住者への支援制度など

- 0歳児～高校卒業までの医療費が全額無料です。
- 小学校入学時にランドセルをプレゼントします。
- 保育料は第1子1/4または1/2を助成、第2子以降は無料です。
- 婚姻届提出後、2か月以内に町内の同一住所に居住された夫婦へ10万円を交付します。
- 若者世帯（50歳以下）や子育て世帯の住宅取得に最大120万円を補助します。

県央地域

5市3町1村からなる県の南西部に位置する地域です。

全国的にも有名な男鹿市のなまはげや秋田市の秋田竿燈まつりのほかにも各市町村それぞれに歴史と文化が今も受け継がれています。



男鹿市 【おがし】

体験助成 住宅助成 空き家バンク



秋田といえば「なまはげ」 実は男鹿の伝統行事です。

三方が海にひらかれた半島で、海あり山あり、マリナクティブィティやサイクリングなど、自然の中での遊びを満喫できます。「おがっこネウボラ」による子育てサポートや、子どもの医療費助成などの子育て支援体制も充実しています。

男鹿市 総務企画部 企画政策課 移住定住促進班
☎ 0185-24-9122 FAX 0185-23-2922
http://www.city.oga.akita.jp/
E-mail oga_jju@city.oga.akita.jp

移住者への支援制度など

- 本市へ移住する世帯の住宅の取得や改修、もしくは住宅の賃貸に要する費用の一部を助成します。
- 本市への移住希望者の暮らし体験、下見に来市した際の交通費の一部を助成します。
- オンラインによる移住相談を受付しています。
- 空き家・空き地バンク制度があります。
- その他の情報は、男鹿市移住・定住ポータルサイト「おが住」をご覧ください。

大潟村 【おおがたむら】

体験助成 住宅助成 空き家バンク



「八郎潟」を干拓してできた 雄大な景色が魅力。

広い空、緑の大地。長くまっすぐに続く道。大潟村はかつて琵琶湖に次ぐ大きさを誇った「八郎潟」を干拓してできた村で、異国を思わせる景観が広がっています。研究熱心な農家の方が、お米だけでなく幅広い農産物づくりに取り組んでいます。

大潟村 総務企画課 企画財政班
☎ 0185-45-2111 FAX 0185-45-2162
http://www.vill.ogata.akita.jp
E-mail g-kikaku@vill.ogata.akita.jp

移住者への支援制度など

- 分譲地や空き地・空き家を購入し住宅を建築、またはリフォームを行った場合、補助金や商品券を交付します。（最大200万円）
- 多世代同居を目的としたリフォームや民間アパートに共住する方などにも各種助成を行っています。（最大80万円）

五城目町 【ごじょうめまち】

住宅助成



移住起業者が、新たな風を 吹き込み続けています。

525年の歴史を誇る五城目朝市、そして、若者の出店やチャレンジを応援する「ごじょうめ朝市plus+（通称：あさぶら）」は、賑わいと活気で満ちています。また、郷土食だまこもち、日本酒、キイチゴ、山菜など、おいしい食材に恵まれています。

五城目町 まちづくり課
☎ 018-852-5361 FAX 018-852-3151
https://gojome.net/
E-mail yuchi@town.gojome.akita.jp

移住者への支援制度など

- 閉校となった木造小学校を活用した「五城目町地域活性化支援センター」は起業支援の拠点となっており、先輩移住者の方や地域おこし協力隊が新しい発想の実現に奮闘中です。町の地域資源を活かして、「ドチャベン」（土着ベンチャー）にチャレンジしませんか？

八郎潟町 【はちろうがたまち】

住宅助成 空き家バンク



お出かけにちょうど良い、 住みやすい町です。

国道7号線や、JR八郎潟駅、そして高速道路のICがあるため交通の便が良く、秋田市や能代市までは1時間程度で、無理のない通勤・通学ができます。また、開けた平野に位置していることから、県内では積雪も少なく、一年を通して住みよい町となっています。

八郎潟町 産業課
☎ 018-875-5803 FAX 018-875-5950
http://www.town.hachirogata.akita.jp/
E-mail sangyou@town.hachirogata.lg.jp

移住者への支援制度など

- 県外から移住・定住する世帯が空き家を購入し、リフォームする場合に補助対象額の20%最大40万円を補助します。
- ※18歳以下の子と同居の場合30%最大60万円
- 就職のため、移住・定住する方に支援金を交付します。
- ※45歳未満又は新卒者。年額3万円を3年間
- 0歳児～高校生までの医療費が無料です。

井川町 【いかわまち】

住宅助成 空き家バンク



さまざまな桜が楽しめる 「日本国花苑」は憩いの場。

日本各地から集められた200種2,000本の桜を楽しむことができる「日本国花苑」。スポーツ施設や子ども向けの遊具エリア、バラ園などがあり、休日は子どもからお年寄りまで、幅広い年代が思い思いの休日を過ごしています。

井川町 総務課
☎ 018-874-4411 FAX 018-874-2600
http://www.town.ikawa.akita.jp/
E-mail soumu@town.akita-ikawa.lg.jp

移住者への支援制度など

- 県外から移住し、町内の空き家を購入した方に対し、リフォーム費用を助成します。（工事費の15%、最大30万円）
- 県外から移住し、町内で雇用される方、新たに事業を営む方に対し、15万円を補助します。（県外出身者の場合15万円加算）
- 高校生までの医療費無料、義務教育学校の給食費無償化、高校生等の通学定期券購入費全額助成、1歳児から保育料無償。

潟上市 [かたがみし]

引越 助成
住宅 助成



県都に隣接するベッドタウン！ 首都圏へのアクセスも◎

八郎湖に向かって広がる田園風景や日本海を望む景色といった豊かな自然環境に加え、秋田市や男鹿市に隣接する県内最小面積の市です。たくさんの魅力がギュッと詰まった「コンパクトなまち」へ一度訪れてみませんか。

潟上市 産業振興部 商工観光振興課 企業支援班
☎ 018-853-5350 FAX 018-853-5280
https://www.city.katagami.lg.jp/
E-mail kigyos@city.katagami.lg.jp

移住者への支援制度など

- 高校生までの医療費は無料です。
- 無料職業紹介所を設置し、市内企業等への就労をサポートしています。
- 住宅の増改築やリフォームに係る工事費用を最大50万円補助します。
- 引越費用として1世帯につき10万円を助成します（過疎地域への定住なら、さらに10万円を加算）。
- 移住して起業する方に最大100万円を補助します。
- YouTube「まるごと！かたがみ情報局」では、市長が職員とともに市の魅力を発信しています。

秋田市 [あきたし]

体験 助成
引越 助成
住宅 助成
空き家 バンク



ちょうどいいから、住みやすい 秋田の県庁所在地。

美術館やショッピング、最新医療施設など、都市機能の利便性は享受したい、けれども時には喧騒から解放され、自然に包まれ心を癒したい。充実した都市機能と豊かな自然を併せ持つ秋田市には日々を暮らすうえでの“ちょうどよさ”があふれています。

秋田市 企画財政部 人口減少・移住定住対策課
☎ 018-888-5487 FAX 018-888-5488
https://www.city.akita.lg.jp/
E-mail ro-plpo@city.akita.lg.jp

移住者への支援制度など

- 県外から移住する子育て世帯や若者世帯の住宅の新築・購入や賃貸、転居および家具・家電製品の購入などに係る費用を補助します（一定の要件あり）。
- 東京の移住相談八重洲センターでは対面とオンラインによる移住相談の他、仕事探しをサポートします。移住相談八重洲センター TEL 0120-99-1101
- 県外から移住して創業する方に、創業に必要な経費の一部を補助します（一定の条件あり）。

由利本荘市 [ゆりほんじょうし]

体験 助成
住宅 助成
空き家 バンク



自分に合った 不便と快適を見つけるまち。

水族館はない！ けれど海水浴場はある。立ち食いそばはない！ けれどおいしいそば屋さんはある。ジェットコースターはない！ けれど子どもが楽しめるレジャー施設はある。不便なこともあるけれど、あなただけの快適な暮らしが見つけれられる場所、それが由利本荘市です。

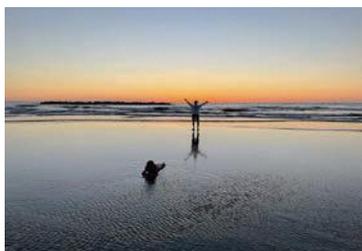
由利本荘市 企画振興部 移住支援課
☎ 0184-24-6247 FAX 0184-24-6268
https://yurihonjo-teiju.jp/
E-mail iju@city.yurihonjo.lg.jp

移住者への支援制度など

- 移住を希望される方には、仕事や住まいなど、暮らしに関する情報提供をワンストップでサポートします。
- 2人以上の世帯で県外から移住された方には、住居要件などに応じて30万円の定住促進奨励金を交付します。
- 保育料の軽減や、高校生までの医療費無料、市独自の子育て支援施策など、子育て支援制度が充実しています。

にかほ市 [にかほし]

体験 助成
住宅 助成
空き家 バンク



充実の子育て環境の中で 海も山も楽しめるまち。

鳥海山と日本海に抱かれ、量・質ともに豊富な水資源も有する自然豊かなまちです。県内一あたたく比較的積雪も少ないので、田舎暮らしはじめてさんにもってこい！ 制度・施設支援ともに充実の子育て環境があるのも魅力です。

にかほ市 商工観光部 商工政策課 ふるさと創造班
☎ 0184-43-7600 FAX 0184-43-3239
https://www.city.nikaho.akita.jp/
https://www.nikahome.jp/
E-mail shoukou@city.nikaho.lg.jp

移住者への支援制度など

- 移住のかけはし「移住リエゾン」があなたにかほを繋ぎます。移住に関わるお悩み、ぜひお気軽にご相談ください！
- 住宅購入には最大100万円の定住奨励金、民間賃貸物件にも若者夫婦世帯や子育て世帯には家賃補助があります。無料職業紹介所による就職相談・マッチング支援も！
- 保育料・副食費完全無償！ 高校生までの医療費無料！ どちらも所得制限ありません。子育てするならにかほ市へ！

県南地域

4市2町1村で形成される県の南東部に位置する地域です。
大曲の花火、田沢湖や雪国ならではの湯沢市の犬っ子まつりなど
季節ごとに楽しめるイベントが多いことも魅力の一つです。



大仙市 [だいせんし]

体験 助成
引越 助成
住宅 助成
空き家 バンク



花火はもちろん！ 自然や子育て支援も魅力。

全国花火競技大会「大曲の花火」が開催され、市町村別米収穫量が全国第2位を誇る日本有数の米どころである大仙市は、18歳以下の子どもの医療費無償化など子育て支援に力を入れています。伝統行事や食などの地域資源に恵まれた大仙市で暮らしてみませんか。

大仙市 企画部 移住定住促進課
☎ 0187-63-1111 FAX 0187-63-1119
https://www.city.daisen.lg.jp/
E-mail iju@city.daisen.lg.jp

移住者への支援制度など

- 住宅取得費用、若者・子育て世帯の家賃、引越費用、除雪用具購入および雪道運転講習費用の一部を支援します。
- 大仙市内で創業を目指す方に対し、事業拠点費（資金・礼金、事務所改装費等）や設備導入費、宣伝広告費の一部を支援します。
- 無料職業紹介所では、移住希望者または転入後1年以内の方を対象に仕事を紹介しています。

仙北市 [せんぼくし]

引越 助成
住宅 助成
空き家 バンク



田沢湖や武家屋敷、 温泉など特色の多いエリア。

日本一の深さを誇る「田沢湖」、桜の名所として知られる「角館の武家屋敷」、秘湯として人気の高い「乳頭温泉郷」など、魅力があふれ、風光明媚な仙北市で、あこがれの田舎暮らしをしてみませんか？

仙北市 企画部 まちづくり課
☎ 0187-43-3315 FAX 0187-43-1300
https://www.city.semboku.akita.jp/
E-mail machi@city.semboku.akita.jp

移住者への支援制度など

- 定住促進奨励金として、新たに取得した住宅の固定資産税納付相当分を初年度から3年間助成します。
- 0歳児～高校生までの医療費が無料です。
- 令和5年3月1日から令和6年3月31日までに結婚したとともに39歳以下の夫婦で、夫婦の合計所得が500万円未満の新婚世帯へ、新居の取得、リフォーム、貸借、引越しにかかる費用の一部を負担します。

美郷町 [みさとちょう]

体験 助成
住宅 助成
空き家 バンク



清水の郷として知られる、 のどかなまちです。

日本名水百選のひとつに選ばれた「六郷湧水群」があります。また、日本古来の小正月行事を今に伝える貴重な祭りとして、国の重要無形民俗文化財に指定されている「六郷のカマクラ」など、文化的にも豊かな地域です。

美郷町 商工観光交流課 交流・商工班
☎ 0187-84-4909 FAX 0187-85-2107
http://www.town.misato.akita.jp/
E-mail kanko@town.akita-misato.lg.jp

移住者への支援制度など

- 定住のため300万円以上の住宅の整備（新築・購入・リフォーム等）を行った場合、奨励金を交付します。
- 新たに美郷町で起業される方に、事業所開設に要する経費の1/2（最大200万円まで）を助成します。

横手市 [よこてし]

住宅助成 空き家バンク



豊かな食、伝統に 多彩なヒトが集まるまち。

果物、お米、野菜、発酵文化などの豊富な食や、増田の町並みなどの伝統が残り、豊かな暮らしができる「素材」がいっぱいです。恵まれた自然と教育環境の中で、子どもはのびのびと子どもらしい時間を過ごしています。

横手市 まちづくり推進部地域づくり支援課
☎ 0182-35-2266 FAX 0182-32-4655
https://www.city.yokote.lg.jp/
E-mail chikishien@city.yokote.lg.jp

移住者への支援制度など

- 移住して起業される方の起業経費を助成します。また、専門家による起業支援を受けることができます。
- 移住して新たに農業経営を始める方に対し、立上げに要する経費を助成します。
- 保育料・副食費を助成します。また、高校生世代までの医療費が全額無料です。(令和5年8月より)

湯沢市 [ゆざわし]

住宅助成 空き家バンク



湯沢美人と出会い 匠の技に惚れるまち。

秋田県の南の玄関口で、小野小町生誕の地として伝えられる秋田美人の里。雄大な自然の中にも雅な情緒が漂います。また、日本三大うどんと称される稲庭うどんや、老舗の酒蔵が醸す銘酒、約800年の歴史と伝統を誇る川連漆器など、伝統の技が光る匠の里です。

湯沢市 まちづくり協働課
☎ 0183-56-8386 FAX 0183-73-2117
http://www.city-yuzawa.jp/
E-mail mirai-gr@city.yuzawa.lg.jp

移住者への支援制度など

- 空き家バンク登録物件の改修費に対して一部を助成します。
- 在学中に貸与を受けていた奨学金の返還額の一部を最大10年間助成します。
- 「子育てにやさしいまち」を目指し、産前・産後家事ヘルパーの派遣や、産後ケア・病児保育室等仕事と子育ての両立を支援しています。
- 0歳児～高校卒業までの医療費が無料です。

羽後町 [うごまち]

住宅助成 空き家バンク



「緑と踊りと雪のまち」 羽後町で実生活を体験!

優雅で妖艶な雰囲気観る者を魅了する「西馬音内盆踊り」は、日本三大盆踊りのひとつで毎年8/16～18に開催されます。のどかな田園風景と、あきたこまち・羽後牛・オクラ・キュウリ・トマト・ふくたちなど、市場での評価が高い食材を満喫しませんか。

羽後町 みらい産業交流課
☎ 0183-62-2111 FAX 0183-62-2120
http://www.town.ugo.lg.jp/
E-mail kanko@town.ugo.lg.jp

移住者への支援制度など

- 県外から転入した世帯が住宅を新築または購入した場合、最大100万円の住宅取得奨励金を助成します。
- 県外から移住して3年以内の世帯が住宅リフォームを行う場合、リフォーム費用の20% (最大20万円)を助成します。
- 18歳まで医療費が無料です。保育料、副食費についても町独自の助成があります。
- 第3子以降の子どもに対して、6歳まで給付金を支給します。さらに、第4子、第5子以降には6歳の誕生月に一時金を支給します。
- 県外から移住し町内企業に就職した方が、6か月以上継続勤務した場合に、「ふるさと就職応援給付金」として5万円を支給します。

東成瀬村 [ひがしなるせむら]

住宅助成



星空が美しく、蛍が飛び交う 《日本で最も美しい村》

「日本で最も美しい村」のひとつに選定された、のどかで美しい村。夜は美しい星空が広がり、夏には蛍が舞う景色が見られます。春の若葉、夏の深緑、秋の紅葉、そして冬の雪景色。四季折々の美しい原風景に抱かれた生活はいかがですか?

東成瀬村 企画課
☎ 0182-47-3402 FAX 0182-47-3260
http://www.higashinaruse.com/
E-mail kikaku-h@vill.higashinaruse.akita.jp

移住者への支援制度など

- 移住してから1年以上定住された方、1人あたり5万円を上限に商品券を交付します。

ACCESS MAP

※ 2023年6月現在

着々と整備が進む秋田の 交通アクセス網

空路

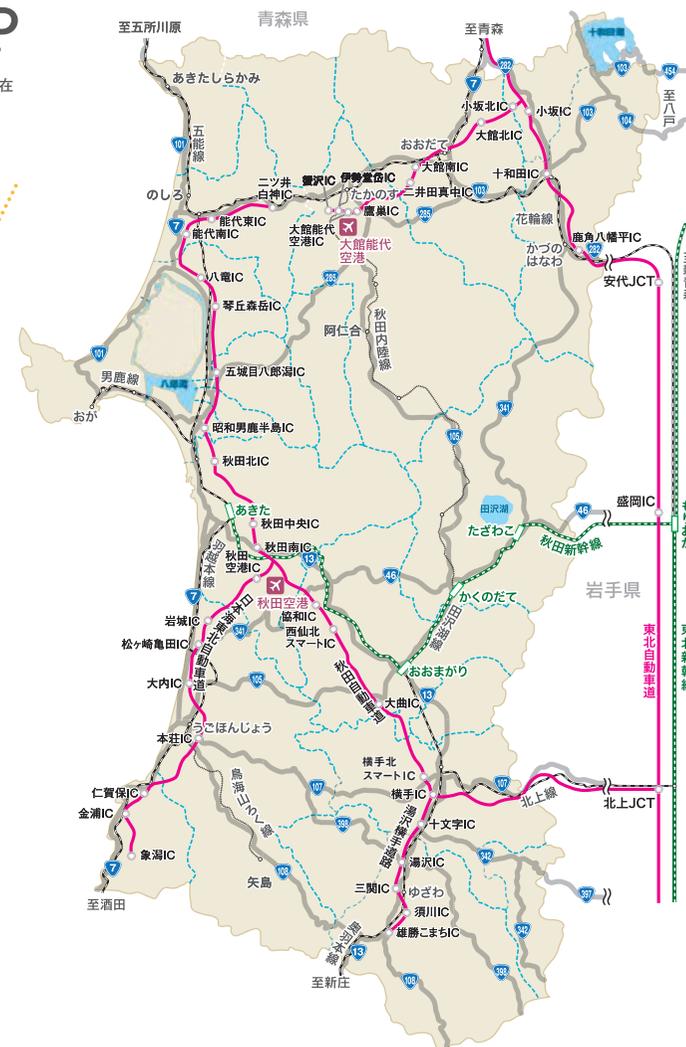
秋田空港(東京行、1日9便)、大館能代空港(東京行、1日3便)の2つの空港から、
約1時間で東京へ!

鉄道

秋田新幹線「こまち」は、東京～秋田間を
最速3時間37分で結びます!

道路

高速道路が整備され、県内や周辺地域への
移動がより快適に!
県内の主要都市から90分で空港へ!



※ 地図は略図です。

県外から

東京・秋田

- 飛行機の場合
羽田空港～秋田空港
所要時間/約1時間5分
- 羽田空港～大館能代空港
所要時間/約1時間10分

- 新幹線の場合
東京駅～秋田駅
(秋田新幹線「こまち」)
所要時間/最速3時間37分

- 車の場合
東京都内～秋田中央IC
(東北自動車道・秋田自動車道経由)
所要時間/約7時間30分

宮城・秋田

- 新幹線の場合
仙台駅～秋田駅
(秋田新幹線「こまち」)
所要時間/最速2時間5分

- 車の場合
仙台宮城IC～秋田中央IC
(東北自動車道・秋田自動車道経由)
所要時間/約2時間58分

愛知・秋田

- 飛行機の場合
中部国際空港 セントレア～秋田空港
所要時間/約1時間20分

- 新幹線の場合
名古屋駅～東京駅
(東海道新幹線)
東京駅～秋田駅
(秋田新幹線「こまち」)
所要時間/約6時間

大阪・秋田

- 飛行機の場合
伊丹空港～秋田空港
所要時間/約1時間20分

県内

- 車の場合
秋田中央IC～横手IC
所要時間/秋田自動車道で約50分
距離/63.1km

- 秋田中央IC～大館南IC
所要時間/秋田自動車道と
国道7号線経由で約1時間30分
距離/111km

- 秋田中央IC～本荘IC
所要時間/秋田自動車道経由
日本海東北自動車道で約40分
距離/50.3km

※ 車による所要時間は、走行速度や
道路渋滞によって異なります。